

## 甲斐市議会予算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成31年3月11日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（21名）

委員長	金丸幸司君	副委員長	横山洋介君
	伊藤毅君		加藤敬徳君
	谷口和男君		秋山照雄君
	清水和弘君		滝川美幸君
	五味武彦君		金丸寛君
	赤澤厚君		小澤重則君
	松井豊君		清水正二君
	斉藤芳夫君		有泉庸一郎君
	山本英俊君		内藤久歳君
	藤原正夫君		小浦宗光君
	保坂芳子君		

### 欠席委員（なし）

### 傍聴議員（1名）

議長 長谷部 集 君

---

### 説明のため出席した者の職氏名

企画政策部長	興石春樹君	総務部長	三井敏夫君
生活環境部長	小田切 聡君	会計管理者	横森貴志君
議会事務局長	岩下和也君	秘書政策課長	丸山英資君
企画財政課長	山田 洋君	総務課長	石合雅史君

人事課長	高鳥 悟 君	防災危機管理課長	長谷川 秀明 君
市民活動支援課長	白神 忠広 君	敷島支所長兼市民地域課長	剣持 豊彦 君
双葉支所長兼市民地域課長	保坂 江里 君	総合政策係長	大木 康 君
秘書係長	宮崎 建 君	広聴広報係長	中村 大輔 君
企画係長	田中 貴則 君	財政係長	宮本 裕 君
総務係長	小林 一三 君	管理係長	久保田 浩 君
契約係長	山田 郁子 君	情報政策係長	有泉 正恵 君
人事係長	瀧波 秀彰 君	給与係長	小池 清美 君
防災減災係長	広瀬 修 君	消防防犯係長	樋川 浩一 君
市民活動支援係長	小宮山 佳浩 君	市民生活係長	窪田 美世 君
庶務係長	井上 千悦子 君	庶務係長	宮川 佳子 君
出納・審査係長	依田 佳久 君	工事検査指導係長	中澤 一昭 君
庶務・議事係長	輿石 文明 君	監査係長	保坂 義実 君

---

**職務のために出席した者の職氏名**

議会事務局長	岩下 和也	書記	輿石 文明
書記	小澤 裕一	書記	中込 美智子

**審査内容**

- 1 議案第24号 平成31年度甲斐市一般会計予算

開会 午前 9時28分

○書記（輿石文明君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の資料のほうですけれども、まず、予算説明書、この厚いこれです。予算審議資料、予算参考資料につきましては1、2、4番になりますので、よろしく願いいたします。

それでは、委員長挨拶。金丸委員長、よろしく願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 改めまして、おはようございます。

本日は、いよいよ5日間にわたる予算審査特別委員会が始まります。よろしく願いいたします。

また、先ほど事務局からお話があったとおり、きょう3月11日は東日本大震災から8年目を迎えるということで、またしっかり皆さんで黙禱していきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げ、簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

それでは、本日の会議を開きます。

---

○委員長（金丸幸司君） ただいまの出席委員は21名です。定足数に達しておりますので、これより予算審査特別委員会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

本日から平成31年度の各会計の予算審査を5日間にわたり行いますが、限られた時間内での審査ですので、委員各位のご協力をお願いいたします。

なお、既にご案内のとおり、本日と13日、14日は一般会計の歳出、15日は一般会計歳出及び歳入並びに特別会計の審査を行います。18日には残りの特別会計及び水道事業会計の審査を行います。

審査に当たり、質疑は一問一答で簡潔をお願いいたします。また、当局側の答弁も簡潔に説明していただきたいと思っております。

なお、質疑には、先に審査を受ける各課を所管している委員会の委員が行います。その後、

所管以外の委員が質疑を行い、最後に傍聴議員の質疑を行います。できるだけ多くの委員各位の質疑を行いたいと思います。回数に制限はありませんが、一度所管の委員の質疑が終了した後は、所管委員の再質問はご遠慮願います。皆様方のご協力をお願いいたします。

審査は、金曜日にお配りした審査日程により、予算参考資料で各款ごとに順次審査を行いますが、事業が多い場合については分割して説明、質疑を行いますので、ご承知おきください。

また、議事進行上、歳出歳入の一部において一括で説明、質疑とさせていただく場合がありますので、あわせてよろしくをお願いいたします。

このように進めていきますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） それでは、そのようにいたします。

それでは、審査に入ります。

議案第24号 平成31年度甲斐市一般会計予算を議題といたします。

初めに、平成31年度一般会計予算の概要について、企画政策部長より説明を求めます。

興石企画政策部長。

○企画政策部長（興石春樹君） それでは、改めましておはようございます。

それでは、本日からの予算審査に際しまして、平成31年度甲斐市当初予算の概要についてご説明をいたします。

平成31年度の当初予算編成につきましては、政策課題の着実な推進と健全財政の堅持を基本に、緑と活力あふれる生活快適都市の実現に向け施策の選択と集中を図ったところがございます。また、昨年11月、甲斐市議会決算審査特別委員会より、平成31年度予算編成に向けての要望書をいただいております。各要望事項につきましては、特別な経費を要するものもございましたが、議会からの要望の趣旨を十分認識する中、効率的・効果的な予算編成に努めておりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、個別の要望事項につきましては、各所管課より当初予算説明の中でお答えをさせていただいておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、当初予算の概要について、平成31年度予算審議資料によりご説明いたしますので、ご用意のほうをお願いいたします。

最初に、1ページをお開きください。

平成31年度当初予算会計別総括表であります。

本市の平成31年度の予算規模は、一般会計259億1,400万円ということで、平成30年度当初予算と比較しますと8億7,800万円の増額で、3.5%の増であり、合併以後最も大きな予算となっております。

一般会計と国民健康保険特別会計以下10の特別会計の総合計は411億8,721万円となり、前年度と比較し9億5,260万3,000円の増額で、2.4%の増となっております。

それでは、特別会計のうち増減額、増減率の大きいものについて説明をいたします。

まず、上から2行目の国民健康保険特別会計は、予算額71億7,935万7,000円で、前年度と比較し3億313万8,000円の減額で、4.1%の減でございます。この大きな減額の要因といたしましては、平成30年度から国民健康保険制度が都道府県化となりましたが、平成30年度の決算見込みから保険給付費、国民健康保険事業費納付金などを減額としたことによるものでございます。

次に、上から4行目の介護保険特別会計が、予算額48億3,889万5,000円で、前年度と比較し3億8,062万4,000円の増額で、8.5%の増であります。この大きな増額の要因といたしましては、居宅介護サービス等給付費、地域密着型介護サービス等給付費などの保険給付費の増額によるものでございます。

次に、下から3行目の農業集落排水事業特別会計が、予算額1,823万3,000円で、前年度と比較し567万7,000円の増額で、45.2%の増でございます。この要因といたしましては、散気装置の取りかえにかかわる修繕料及び農業集落排水施設機能診断委託料などを計上したことによるものでございます。

次に、一番下の行の合併浄化槽事業特別会計が、予算額2,158万9,000円で、前年度と比較し779万円の減額で、26.5%の減でございます。この要因といたしましては、合併浄化槽設置予定戸数の減に伴い合併浄化槽整備事業を減額としたことによるものでございます。

2ページをお願いいたします。

一般会計当初予算の歳入について、主に予算科目の款ごとの予算額または増減額、増減率の大きいものについてご説明をいたします。

1款の市税につきましては、予算額86億9,023万7,000円で、一般会計の歳入の約3分の1を占めており、前年度と比較しますと1億1,716万2,000円の増額で、1.4%の増であります。主な増減の内容といたしましては、市民税につきましては、これまでの決算額及び平成30年度の決算見込みなどから算出し増額とするとともに、固定資産税につきましても3年に一度の評価がえの中間年度となるため、新增築家屋の増額分を見込み増額、また軽自動車

税につきましても過去からの登録状況等及び消費税率の改正に伴い新たに軽自動車の取得に対し環境性能割が導入されることなどから増額としております。

たばこ税につきましては、平成30年度から段階的な増税となっておりますが、禁煙人口の増加及びこれまでの決算額などから算出し減額としております。

次に、6款地方消費税交付金につきましては、予算額12億8,800万円で、前年度と比較しますと9,800万円の増額で、8.2%の増であります。

消費税につきましては、平成31年10月に税率10%への改正が予定されておりますが、引き上げ分の税収が平年度化するまでの間は経過措置が設けられるため、地方消費税交付金の従来分、引き上げ分の割合に変更はありません。ただし、引き上げ分については、これまでの交付実績を考慮し増額といたしました。

次に、8款自動車取得税交付金につきましては、予算額2,700万円で、前年度と比較しますと300万円の増額で、10%の減であります。

自動車取得税交付金は、消費税率の改正に伴い廃止となりますが、平成31年度は平成31年3月から9月までの7カ月間の取得分に対して交付金が交付されますので、直近3カ年の自動車取得税交付金交付額の平均をもとに算出し、計上いたしました。

次に、9款環境性能割交付金につきましては、消費税率の改正に伴い、新たに環境性能に応じて自動車の取得に対して1%から3%が減税として徴収され、そのうち47%が環境性能割交付金として交付されるものです。平成31年度分といたしましては、平成31年10月から平成32年2月までの5カ月間の取得分に対して交付金が交付されますので、直近3カ年の自動車取得税交付金交付額の平均をもとに算出し、600万円を計上いたしました。

なお、9款に環境性能割交付金を新設したことにより、地方特別交付金を10款に変更し、以降の款は1款ずつ繰り下げとなりますので、ご承知おきを願います。

次に、11款地方交付税につきましては、予算額50億円で、前年度と比較しますと2億1,000万円の増額で、4.4%の増であります。内訳といたしまして、普通交付税につきましては平成31年度は激変緩和期間による減額率が9割となりますが、これまでの交付実績を考慮する中で、前年度と比較し1億円の増額としたところであります。また、特別交付税につきましても、これまでの交付実績を考慮する中で、前年度と比較し1億1,000万円の増額としたところであります。

次に、15款国庫支出金につきましては、市税、地方交付税に次いで構成比が3番目に大きな歳入ですが、予算額38億2,088万9,000円で、前年度と比較しますと1億93万3,000円の

増額で、2.7%の増であります。主な増減内容としましては、松島保育園の整備事業完了に伴う保育所等整備交付金などの減額はあるものの、教育、保育給付負担金、障害者自立支援給付負担金、生活保護費負担金など増額となったことによるものでございます。

次に、16款県支出金につきましては、予算額19億5,387万5,000円となりまして、前年度と比較いたしますと1億1,025万9,000円の増額で、6%の増であります。この増額の内容としましては、教育・保育給付負担金、障害者自立支援給付費負担金などが増額となったことによるものでございます。

次に、17款財産収入につきましては、予算額5,098万8,000円となりまして、前年度と比較いたしますと2,835万7,000円の増額で、125.3%の増となっております。この増額の内容としましては、未利用財産売却収入2,500万円を計上したことによるものであります。

次に、18款寄附金につきましては、予算額4億17万1,000円となりまして、前年度と比較いたしますと1億9,996万円の増額で、99.9%の増となっております。この増額の内容としましては、ふるさと応援寄附金について特典品の充実や積極的なPRを実施したことにより多くの寄附金が寄せられておりますことから増額としたものでございます。

次に、19款繰入金につきましては、予算額6億2,721万9,000円となりまして、前年度と比較いたしますと8,539万1,000円の増額で、15.8%の増となっております。これは財政調整基金からの繰入金を増額したこと等によるものであります。

最後に、22款市債につきましては、予算額21億7,970万円となりまして、前年度と比較いたしますと5,644万円の減額で、2.5%の減となっております。これは合併特例債の減額が主な要因となっております。

以上が一般会計当初予算の歳入の主な内容であります。

次に、3ページをお願いいたします。

一般会計当初予算歳出の目的別の内容について、主に予算科目の款ごとの予算額または増減額、増減率の大きいものについてご説明をいたします。

まず、2款総務費につきましては、予算額28億1,956万3,000円となりまして、前年度と比較しますと3億1,383万6,000円の増額で、12.5%の増となっております。主な増額内容といたしましては、平成33年度評価がえに向けた土地鑑定業務委託等の増に伴う固定資産税賦課費及びふるさと応援給付金事業などが増となったことによるものでございます。

次に、3款民生費につきましては、予算額109億2,803万円となりまして、前年度と比較しますと5億6,746万4,000円の増額で、5.5%の増となっております。構成比は、前年度を

0.8ポイント上回る42.2%で、この構成比の順位は引き続き1位という状況であります。増額の主な内容は、自立支援給付、生活保護費等の扶助費の増、さらに対象施設等の増加による認定こども園等事業の増に加えまして、臨時的な経費といたしまして双葉西保育園建てかえに伴う建築工事等を計上した保育園建てかえ事業などが増となったことによるものでございます。

次に、4款衛生費につきましては、予算額22億5,421万6,000円となりまして、前年度と比較しますと1億823万3,000円の増額で、5%の増となっております。増額の主な内容としましては、発電所用地にかかわる測量、不動産鑑定委託料等を計上したバイオマス産業都市推進事業、広域事務組合負担金、風疹に関する追加的対策経費を計上した予防接種事業などが増となったことによるものであります。

次に、8款土木費につきましては、予算額21億5,644万6,000円となりまして、前年度と比較しますと5億1,334万円の減額で、19.2%の減となっております。この減額は塩崎駅周辺整備事業完了に伴う減などが主な要因であります。

次に、10款教育費につきましては、予算額25億4,487万5,000円となりまして、前年度と比較しますと3,238万9,000円の増額で、1.3%の増となっております。主な増減内容としましては、給食室の解体工事完了に伴う玉幡中学校施設整備費、大ホール天井耐震化工事完了に伴う敷島総合文化会館管理運営経費、空調設備、外周工事完了に伴う双葉ふれあい文化館管理経費などが減額となりましたが、敷島小学校、双葉東小学校の受水槽取りかえ工事などを計上した小学校施設整備費、駐車場整備工事費などを計上した双葉公民館管理運営費などが増額となっております。

次に、12款公債費につきましては、予算額33億4,047万2,000円となりまして、前年度と比較しますと4億328万6,000円の増額で、13.7%の増となっております。この増額の主な要因は、借換債分の増などに伴い、元金が増額となったことによるものであります。

以上が一般会計当初予算の歳出の目的別の内容であります。

次に、4ページをお願いいたします。

一般会計当初予算歳出の性質別の主な内容についてご説明をいたします。

まず、義務的経費につきましては、予算額149億2,231万1,000円で、前年度と比較いたしますと19億559万8,000円の増額で、14.6%の増であります。内訳としまして、まず人件費につきましては職員給料、退職手当組合負担金、一般共済組合負担金などの増額により、前年度と比較いたしますと3,793万8,000円の増額で、0.9%の増であります。

次に、扶助費ですが、前年度と比較いたしますと14億6,437万4,000円の増額で、25.1%の増であります。この要因といたしましては、自立支援給付事業、生活保護費、保育関係経費などの増額のほか、認定こども園等事業について、前年度までは補助費等に計上していましたが、平成31年度から扶助費に計上したことにより大きく増額となっております。

次に、公債費につきましては、目的別の12款公債費と同様、借換債分の増などに伴い元金が増額となったことにより、前年度と比較いたしますと4億328万6,000円の増額で、13.7%の増であります。

次に、投資的経費につきましては、予算額13億9,538万1,000円で、前年度と比較いたしますと6億3,654万6,000円の減額で、31.3%の減であります。この主な要因といたしましては、双葉西保育園建てかえに伴う建築工事費等を計上した保育園建設事業などの増額はありましたが、塩崎駅周辺整備事業が完了したことに伴い減額となったことなどによるものでございます。

次に、その他行政経費につきましては、予算額95億9,630万8,000円で、前年度と比較いたしますと3億9,105万2,000円の減額で、3.9%の減となっております。この主な要因としましては、物件費や維持管理補修費については増額となりましたが、補助費等が減となったことによるものでございます。

以上が一般会計当初予算歳出の性質別内容であります。

続きまして、5ページは一般会計当初予算の構成図であります。6ページは一般会計歳出予算の節別の一覧表であります。7ページから8ページは一般会計及び特別会計の基金現在高見込み調書であります。

それでは、7ページの基金の現在高見込み調書において、右から2列目、3列目の一般会計の平成31年度中における基金の増減見込み額についてご説明をいたします。

まず、31年度中の取り崩し見込み額といたしましては、表の上から1行目の財政調整基金では財源の不足分を補填するため5億8,761万2,000円を見込んでおります。4行目の地域振興基金ではサテライト双葉場外車券売場地元対策負担金等をこども医療費助成事業に充当するため3,800万円を見込んでおります。

上から8行目の13款ふるさと水と土保全対策基金では、農林業施設維持管理事業に充当するため67万7,000円を見込んでおります。

下から2行目の環境保全基金では、バイオマス活用推進事業へ充当するため92万6,000円を見込んでおります。

次に、平成31年度中の積み立て見込み額については、各基金の運用利子等を積み立てするものであり、なお、上から4行目の地域振興基金ではサテライト双葉場外車券場売場地元対策負担金等を、下から5行目のクライנגアルテン基金では利用者の使用料、入会金等を、その3行下の環境保全基金では屋根等の貸与使用料を、その下の竜王北保育園太陽光発電施設設備基金では充電収入を積み立てするものでございます。これらにより平成31年度末現在高見込み額は、表の一番右下のとおり88億8,411万7,000円を見込んでおります。

次に、9ページをお願いいたします。

地方消費税交付金が充てられる社会保障施設施策に要する経費の一覧表であります。

地方消費税交付金につきましては、通常ベースは7億円であります。消費税の引き上げ相当分である5億8,800万円については社会保障財源交付金として社会保障4経費、その他社会保障施設に要する経費に充当することとされております。社会福祉37事業、社会保険4事業、保健衛生6事業の社会保障経費としては、一番下、合計欄のとおり107億2,224万9,000円あります。財源内訳の一般財源48億4,223万1,000円のうち、引き上げ分の地方消費税分として5億8,800万円を各事業、計47事業へ充当するものでございます。

続きまして、10ページから18ページまでが当初予算事業の一覧表として、第2次総合計画の5つの基本目標及び総合計画の推進、方策別に所得ごとの事業名、事業費及び主な内容であります。19ページは職員の年齢別人員構成表であります。次の20ページは人件費明細表であります。21ページから25ページまでは広域事務組合負担金の一覧表であります。最後に、29ページ以降は各特別会計の予算審議資料でありますので、審議の参考にしていただきたいと思っております。

以上が平成31年度一般会計予算の概要であります。

今後、各所管課より詳細説明がありますので、ご審議のほどよろしくお願いをいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

ただいまの説明につきましては、この後、各課より詳細な説明がありますので、質疑は省略いたします。質疑がある場合は、各課の審査のときをお願いいたします。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午前 9時53分

再開 午前 9時54分

○委員長（金丸幸司君） それでは、会議を再開いたします。

初めに、1款議会費及び2款総務費、1項総務管理費、8目公平委員会費並びに6項監査委員費について説明を求めます。

岩下議会事務局長。

○議会事務局長（岩下和也君） よろしくお願ひいたします。

それでは、議会事務局の関係の平成31年度当初予算の説明をさせていただきます。

まず、予算説明書の38、39ページをお願いいたします。

まず、予算説明書にありますように、平成31年度の議会費予算額は2億2,071万7,000円であります。前年度2億2,400万3,000円でありまして、328万6,000円の減額となっております。この原因につきましては、2年に一度の常任委員会の視察研修経費等の削減によるものです。

それでは、予算参考資料に基づきまして事業別の説明をさせていただきます。

予算参考資料ナンバー2、1ページになります。

1款1項1目の議会費、01議会事務局職員費につきましては、予算額3,615万1,000円で、議会事務局職員4人分の人件費となっております。

次に、10議員報酬につきましては、予算額が1億5,963万2,000円で、議員22人の報酬、期末手当等でございます。

次に、11議会運営費につきましては、予算額635万6,000円で、本会議及び委員会等の会議録の作成委託料、また市議会議長会等の旅費及び負担金等でございます。

次に、12議会管理費につきましては、予算額749万3,000円で、議員報酬システム等の委託料及び議長マイクシステム、公用車リース料等の経費であります。

次に、13議長交際費につきましては、予算額30万円の計上であります。

次に、14議員政務活動費につきましては、予算額264万円で、政務活動費運用基準に基づきまして交付する経費でございます。

次に、15議会交付事業につきましては、予算額814万5,000円で、財源内訳のうち、その他財源の16万円につきましては議会だより広報掲載料であります。内容につきましては、年4回発行します議会だより、ホームページの配信システム利用等の使用料でございます。

以上が議会費の説明とさせていただきます。

続きまして、公平委員会費について説明をさせていただきます。

まず、予算説明書につきましては、46、47ページになります。予算参考資料につきましては2ページの上段の表にあります。

2款総務費、1項総務管理費、8目公平委員会費につきましては、予算額が24万2,000円で、公平委員3人の報酬と公平委員会関係経費として、全国公平委員会連合会及び全国公平委員会連合会関東支部の各総会への参加旅費等でございます。

次に、監査委員費について説明をさせていただきます。

予算説明書の56、57ページになります。予算参考資料につきましては2ページの中段の表になります。

6項監査委員費、1目監査委員費につきましては、予算額が132万8,000円で、監査委員3名の報酬と監査委員関係経費として関東都市監査委員会研修会旅費及び参考図書等の追録代でございます。

次に、2目監査委員事務局費につきましては、予算額が1,553万3,000円で、監査委員事務局職員2人分の人件費でございます。

以上、議会事務局の関係の予算の説明をさせていただきました。

審議のほうよろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管委員の質疑を行います。所管は総務教育常任委員会です。

質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） 次に、所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了し、続いて、傍聴議員の質疑を許します。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

これで1款議会費及び2款総務費、1項総務管理費、8目公平委員会費並びに6項監査委員費の質疑を終了いたします。

次に、2款総務費のうち会計課所管事業について説明を求めます。

横森会計管理者。

○会計管理者（横森貴志君） おはようございます。

それでは、会計課が所管いたします平成31年度当初予算についてご説明いたします。

予算参考資料につきましてはナンバー2の3ページをお開きください。予算説明書は42ページ、43ページとなります。

なお、説明につきましては予算参考資料に基づきまして説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

2款総務費、1項総務管理費、3目財務管理費、20財務管理費（会計課）につきましては、予算額306万8,000円で、財源は全て一般財源でございます。事業の概要につきましては、参考図書の追録代、ファイルなどの事務用品、支払い案内通知書の印刷製本費及び郵便料の経費、ラベル張り機の保守点検業務及びリース料と指定金融機関窓口収納等業務委託料でございます。

以上、会計課が所管いたします予算につきましてご説明申し上げました。

よろしくご審議お願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） これより、説明に対し質疑を行います。

先に所管委員の質疑を行います。質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了し、続いて、傍聴議員の質疑を許します。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） 傍聴議員の質疑を終了いたします。

これで2款総務費のうち、会計課所管事業についての質疑を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午前10時03分

再開 午前10時05分

○委員長（金丸幸司君） それでは、会議を再開いたします。

次に、人事課長より職員人件費について、資料により説明を受けたいと思います。

高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） お疲れさまです。

人事課から平成31年度当初予算につきまして説明させていただきます。

初めに、人件費全般につきまして説明をいたします。予算審議資料の19ページをお願いします。

平成31年度当初予算年齢別人員構成表となります。

最初に、下の表をごらんください。これは平成31年4月1日における特別職を除いた職員数で、新規採用見込み者20人を含み、平成31年3月31日退職予定者を除いた職員数となり、男性241人、女性205人の計446人と見込んでいます。34歳から39歳までは合併後の職員採用の抑制により、他の年齢の約半数となっていますが、平成28年度の採用試験から社会人枠を設け、年齢別職員数の平準化と専門分野の拡充を進めているところであります。

上の棒グラフは年齢別、男女別となっており、上が男性、下が女性で、数字はそれぞれ的人数となっています。新規採用見込み者は、予算作成時は20人でしたが、その後1人が辞退したため、全員で19人で、行政職11人、土木職1人、保健師2人、保育士3人、司書1人、学芸員1人であり、男性9人、女性10人です。そのうち市内在住者は13人、市外在住者は6人、また社会人枠として行政職4人、学芸員1人を採用する予定です。

次に、20ページをお願いいたします。

平成31年度当初予算人件費明細表となります。上段の表は正職員、再任用職員、嘱託・非常勤・臨時職員の人件費の総合計の表になっています。

次に、中段は正職員の表でございます。一般会計から特別会計を合わせた職員数は4月1日時点となります。平成31年4月1日の職員数の合計は、市長、副市長、教育長の3人を加えた449人となり、昨年度と同数でございます。

2節給料は、予算額16億1,248万3,000円、昨年度と比較し1,148万3,000円の増額となります。これは人事院勧告等によるものでございます。

次に、3節職員手当は、予算額11億6,240万1,000円、昨年度と比較し1,411万1,000円の減額となります。これは定年退職者数の減員によります退職手当負担金の減額によるものであります。

次に、4節共済費は、予算額5億2,093万4,000円、昨年度と比較し657万8,000円の増額となります。これは人事院勧告等によるものでございます。

次に、28節繰出金は、水道事業会計における児童手当支給に必要な財源を一般会計から繰り出すものであり、予算額12万円は昨年度と比較し30万円の減額となります。これは職員の異動によるものでございます。

合計予算額は32億9,593万8,000円、昨年度と比較し365万円の増額となります。

続いて、次の行は再任用職員になります。再任用職員は平成30年度から引き続き更新します5人と今年度末、定年等による退職者の中で再任用を希望する14人の合計19人となります。

2節給料は、予算額5,713万1,000円、昨年度と比較し2,719万7,000円の増額となります。

次に、3節職員手当は、予算額1,232万3,000円、昨年度と比較し547万1,000円の増額となります。

次に、4節共済費は、予算額1,028万円、昨年度と比較し514万7,000円の増額となります。

合計予算額は7,973万4,000円、昨年度と比較し3,781万5,000円の増額となります。これは勤務時間数及び給料の見直し、職員数の増加によるものでございます。

続きまして、嘱託非常勤、臨時職員です。嘱託職員数は合計28人で昨年と比較し4人減員です。これは市税等の徴収嘱託員の1人減員と家庭相談員3人を一般職非常勤職員に任用がえしたものでございます。

次に、非常勤職員数は325人で、昨年と比較し1人増です。また、臨時職員数2人は、傷病休暇等に対応するための予備として当初予算に計上しております。

1節報酬は、予算額7億7,522万6,000円、昨年度と比較し586万6,000円の減額となっています。

次に、4節共済費は、予算額1億2,997万8,000円、昨年度と比較し573万2,000円の増額となっています。

次に、7節賃金は、予算額345万7,000円、臨時職員2人分となります。

合計予算額は9億866万1,000円、昨年度と比較し624万4,000円の減額となります。

人件費全体の概要につきましては以上となります。ご審議をよろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより、説明対し質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 20ページの正職員ですが、449人ということで、460人の目標の前で足踏み状態という感じだけれども、その辺はどうなんですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 昨年度と同数ということなんでございますけれども、昨年度末に定年退職者以外の普通退職者の方が何名かいらっしゃいました。そんなような関係で、今年度の採用人数の中にも、当初20名を予定していましたが1名辞退者が出たということで、そんな関係で昨年度と今年度の当初の人数が同数となっています。今後、460人に向けて採用のほうを計画どおり行っていきたいというふうに思っています。

○委員長（金丸幸司君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） それで、質問でもしましたが、障害者の雇用については、31年4月の想定では何人でしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 昨年、質問にお答えしたとおり、その時点では2名障害者の方、法定雇用に足りませんでしたけれども、途中、1名の方が採用になりまして、現在1名不足というようなことになっております。来年度、その1名を採用していきたいというふうに考えています。

○委員長（金丸幸司君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） ここ論議はしませんけれども、前にも指摘したように、常勤職員も含めた雇用のはずですから、特に精神障害については障害者措置として一番多いし、企業によっては五、六%とったときもある。それなりに仕事ができる人なので、非常勤という形でとりあえずとるとか、その辺はひとつ考えてもらいたいと思います。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

小浦委員。

○委員（小浦宗光君） 社会事業部があるという話があったですけれども、これは行政職4人で、学芸員が1人ですけれども、学芸員でどんなふうな仕事をやるんですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 学芸員は、生涯学習文化課におきまして文化財係に配属になって

おります。文化財の専門職として学芸員という資格の採用枠となっています。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

小浦委員。

○委員（小浦宗光君） 社会人枠の年齢制限とか、またほかに住所の制限とか、そんなものが何か特別にありますか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 社会人枠は31歳から39歳までという年齢の条件を30年度の採用試験では設けさせていただきました。また、民間企業等で働いている勤務経験が5年以上ある方ということを条件にしています。また、市内、市外のほうは特別制限はございません。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に、所管以外の委員の質疑を許します。

質疑ございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） ちょっと今の続きになるんですが、社会人枠の行政職は4人で、普通の行政職11人ということですので、その7人は、先ほどありましたけれども、その年齢と民間の働いてきたということととったということですが、ほかにもたくさん行政職希望の人はいたろうと思うんですが、そこでこの社会人枠でとったということはそれなりの理由というのがあると思うんですが、中身的なことで何か話せることがあったら教えていただきたいんですけれども。どうして採用したかというところで。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 社会人枠の採用でございますけれども、まず、申し込みの枠といえますか、行政職、そのほかもそうですけれども、社会人枠を設けている課は申し込みの新卒と社会人枠という2つの入り口がありまして、第1次試験でそちらのほうを受けていただきます。その合格者、それは得点順で合格をします。その後2次試験で人物評価ということで論文試験もございますけれども、面接を行わせていただいています。この面接のほうは、新卒、社会人枠とフラットにして、能力また人物の評価ということで可否の判定をしています。ですので、社会人枠だからとっているとかということではなくて、人物を最優先にして、その結果、社会人枠が、行政職だったら4名いましたということになります。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 辞退した方が1名おられましたけれども、この業種でいくとどこで辞退されたんですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 1名辞退された方は土木職でございました。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

横山委員。

○委員（横山洋介君） すいません、記憶がちょっと定かじゃなかったんですけども、先ほど松井委員からあった障害者雇用の件なんですけど、今年度1人おやめになって、新規採用で1人採用するという記憶があったんですけども、今年度2名やめて中途採用で1人採用して、新規はとれなかったということよろしいですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 障害者雇用につきましては、平成30年度甲斐市の雇用率を達成するため10名が必要な人数になっています。昨年の実績は7名、その障害者枠の計算といえますか、基準の中にも1級、2級の重度の障害者の方は2人カウントできるというような形になっています。そんな中で、3名足りなかったところ、現在、途中で重度の方が1人任用になりましたので、2人枠ということになっておりますので、今現在では1人基準に満たないということになっておりますので、平成31年度中には1人以上の採用を考えています。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 先ほど、この年齢別の構成のグラフの中で、36歳から39歳がへこんでいるという説明がありまして、社会人枠を設けた目的というのは、基本的な考え方として、ここの年代をカバーするために設けてやっているのか、その辺のところの基本的な考えというのはどういう考えでやっているんですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 人数の少ないところを社会人枠でカバーするという目的はその一つ。社会人枠を採用するには、即戦力ということで、今までの勤務実績といえますか、そういうところを考慮して社会人枠ということで採用しています。社会人枠の採用の中には、先ほど申しましたとおり、やはり人物重視で即戦力ということで能力のある方を採用したいと思っていますので、結果、ここにあります36歳から39歳までの間に入らない場合もござい

ますので、その前の31歳から35歳、たまたま今回も31歳から35歳のほうに入った方が多かったんで、結果的に36以上の少ないところはカバーできなかったという現状はあります。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、ある程度この年齢の人を補充していかないと、このグラフの変化がおさまっていかないんじゃないですかね。そうすると、そこの採用枠のところはある程度きちっと2人とか毎年確保しておかないと、この山は埋まっていかないような気がするんだけど、それはさっき言ったように、人物とか、全ての人がいいわけじゃないけれども、一応そんなことも考えながら採用もやっていかないと、この問題は解決しないんで、ことしということをあれするわけじゃないけれども、その辺も考慮しながらやっていくということが必要じゃないかと思うんですが、その辺の考え方はどうですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） おっしゃるとおりで、そこを埋めたいために社会人枠というのを設けているのが目的の一つでございますので、その辺も考慮する中で人物評価との兼ね合いで今後考えていきたいと思えます。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 先ほど新年度で技術職を何か1人採用するという説明ありましたね。それは土木課とか、そういう関係なんですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 土木部職という専門職で採用する予定になっています。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、今までの議会の中で専門職の採用ということで要求はしてきたんだけど、今後ともやっぱりそういう方針は変わらない、毎年1人採用するとかと、そういうことは考えているの。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 土木職の職員も現在15名ほどおりますが、年齢層が40以上の職員が多くて、あとは20代の職員、両極端、年齢層で言うと上と下になって、真ん中の年齢層が少ないというところもありますので、そういったところを社会人枠でカバーしていきたいというふうに考えています。今年度も土木職2名本当は最初採用する予定でしたけれども、1名が辞退されてしまったんで結果1名ですけれども、土木職等の技術職につきましては、来年度以降も定期的に、計画的に採用を考えております。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そして、採用の中で採用資格というか、そういうのって今までは高卒枠というのは設けていないということを知っていたので、それはそれでいいのかな。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 30年度の試験の内容を見ますと、学歴等の条件はございませんが、試験問題につきましては大学卒業程度の問題を出題しますということになっております。31年度はまだ試験の内容等の詳細を決めておりませんが、そんな流れでいくんじゃないかというふうに考えています。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） それで、基本的な部分だけでも、やっぱり高卒枠というのも1人ぐらい設けて採用すべきじゃないかと思うんですよ。というのは、創甲斐教育の中で、甲斐市で生まれて甲斐市を育てる人づくりという大きな目的があるわけじゃないですか。高校を出て就職するという生徒もいるわけで、そういう枠を設けていけば、この地元に戻って職員になって地元で頑張るといふことにもつながると思うんですよ。だから、そういうことも考えながら採用しとくというのにも必要なことかなと思っているので、今後そういうことも含めて、人口の定着とかそういうことも考えれば、一步一步取り組みながらやっていくということも、子供たちに対して将来に希望が持てるようなね、必ずしも大学出て公務員になるということじゃなくて、地元でも頑張れば公務員になれたりということで、働けるという一つの雇用の場でもあるわけで、そういうことも考えて採用のほうも取り組んでもらいたいと思うんですけども、部長いかがでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 三井総務部長。

○総務部長（三井敏夫君） ご質問、ご提言のとおりだと思います。ただ、先ほど人事課長が申しましたように、学歴の条件は付してございませんので、その試験の内容につきまして今後検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

金丸委員。

○委員（金丸 寛君） 再任用職員さんが31年度19人にふえてきているということなんですけれども、年金受給年齢がだんだん先に行っているというような条件の中で、これ年々ふえていくのかなという感じはしていますんですが、正職員のとくと再任用の職員の待遇と

ますか、給与面ではどのぐらい差がつけられているかどうか、その辺伺ってよろしいでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 再任用職員は、平成31年度の予算から、条例審査の際にもご説明させていただきましたけれども給料の見直しをさせていただきました。現在、再任用職員は一律の再任用2級という格付になっております。そちらのほうの月給は月約21万円余りです。そこを6時間という1日の勤務時間で割り返しますと約16万何がしです。そちらのほうを31年度からは1日7時間30分の勤務で、現在6級以上の職員については再任用職員の4級、そちらのほうは約27万円何がし、それから5級以下の職員は再任用職員の3級、こちらは26万円何がしというような金額のほうに見直しをさせていただく予定でございます。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了します。

これで、職員人件費についての質疑を終了いたします。

次に、2款総務費のうち人事課所管事業について説明を求めます。

高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 続きまして、人事課所管の当初予算につきまして説明をいたします。

予算参考資料ナンバー2の4ページをお願いします。

なお、予算説明書は39ページから41ページとなりますので、よろしく願いいたします。

予算参考資料に基づきまして説明をいたします。

2款総務管理費、1項総務管理費、1目一般管理費、01総務管理関係職員費、予算額は6億6,342万6,000円は前年度と比較し74万4,000円の増額で、職員85人の人件費となります。職員の内訳は、市長、副市長、教育長、企画政策部、総務部、生活環境部長、市民活動支援課、会計管理者を含めた会計課の職員の人件費、また採用予定者と退職予定者との差をここで調整をしています。財源内訳の国庫支出金635万円は、県移譲事務の交付金でございます。

次に、02総務管理関係嘱託・非常勤職員等費は1億8,946万5,000円、前年度と比較し2,892万8,000円の増額で、一般非常勤職員69人の人件費です。財源内訳のその他財源は雇用保険料の被保険者負担金266万2,000円です。

次に、03人事管理事業2,781万8,000円は、前年度と比較し1,683万5,000円の増額となっています。増額の内容は、人事給与システムが31年9月で7年間の委託契約が終了することによりシステム入れかえのための経費です。

次に、04職員福利厚生事業1,055万9,000円、前年度と比較し9万4,000円の減額となっています。内容は、職員健康診断助成、ストレスチェック業務委託料等です。職員の健康診断につきましては、非常勤職員を含めた職員全員が受診するための予算を計上しております。また、ストレスチェックにつきましても平成29年度から職員全員を対象に実施しております。

次に、05職員研修事業381万4,000円は、前年度と比較し3万3,000円の減額で、職員研修に係る負担金等でございます。職員研修につきましては、なお一層積極的な研修への参加を促し、研修を通じて職員の意識改革及び事務処理能力の向上を図ってまいります。

次に、06再任用職員費7,973万4,000円は、前年度と比較し3,781万5,000円の増額となっています。30年度から継続する5人と31年度新たに再任用を予定している14人、合計19人分の給料等になります。

以上が人事課所管の予算となります。

ご審議をよろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。

先に所管委員の質疑を行います。質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に、所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 05の職員研修事業なんですけれども、職員研修の講師の謝金等で58万あるんですけれども、講師によっては金額もいろいろだとは思いますが、この講師を呼んでの講習というのは何回ぐらいを予定しているんですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 講師を呼んで職員研修でございますけれども、年間3回を予定しております。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

五味委員。

○委員（五味武彦君） 同じところなんだけれども、市町村職員研修所負担金、もうちょっと詳しく教えていただけますか。研修所をどのように負担しているのか。

○委員長（金丸幸司君） 瀧波係長。

○人事係長（瀧波秀彰君） 研修の負担金ですが、町村会のほうに研修所がございまして、そちらのほうに共同で研修をするような形になっております。そこで施設の運営費等、あと1人当たり500円の研修負担金等が含まれておりますので、そちらを総合しまして負担金として支出をしております。

○委員長（金丸幸司君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） ちなみに予算の中では大体どのぐらいの人数の職員さんが研修する予定とか、例えば今年度でも構わないんですけども、ちょっと実績等々をご紹介いただけますか。

○委員長（金丸幸司君） 瀧波人事係長。

○人事係長（瀧波秀彰君） 予算の中では、毎年の研修の実績を踏まえまして約320名、宿泊研修等の新人研修等には20名の予算を盛らせていただいております。そのほかに必要な参考図書もございまして、そちらのほうも含んでおります。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

横山委員。

○委員（横山洋介君） すいません、03の人事給与システムの入替えが9月にあるということなんですけれども、今のシステムと同等のものですか、それとももうちょっと勤務実態を把握するとか、そういった機能がふえてきているシステムに変わるかどうか、お願いします。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 現在のものと同等のものと考えております。

○委員長（金丸幸司君） 横山委員。

○委員（横山洋介君） この前も課長とお話しさせていただきましたけれども、勤務実態がなかなか把握できない部分もあったりとかして、変な話、サービス残業になっている可能性もあるので、そういったものも今後ちょっと検討していただいて、まだ9月まで期間あると思うので、そういったことを考慮したシステムにさせていただければなと思いますので、お願い

します。要望で。

○委員長（金丸幸司君） ほかに。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 04のストレスチェックの業務委託、これの内容をちょっともう一回説明してくれますか。

○委員長（金丸幸司君） 瀧波人事係長。

○人事係長（瀧波秀彰君） ストレスチェックにつきましては、正職員と非常勤職員全てを含めまして厚生労働省で示しております質問をみんなに受けていただいて、事前にストレスの度合いを判定してセルフチェックにつなげるというものであります。

ちなみに今年度の実績なんですけれども、職員778名の実施をしております。その中で、実際に実施した者が736名おりまして、実施率にかえますと94.6%の職員がストレスチェックを受けたという数字が出ております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） ストレスチェックでストレスがあるかないかということをチェックすると思うんだけど、その結果として、このチェックに基づいて職員の中で問題があるところはある程度治療を受けなきゃならんとかという、そういうところに結びつくような事例はないということですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 今年度の実績から、ストレスがちょっと高いよというそういう数値が出た職員が54件ほどございます。その方々には相談を受けるような体制は整っておりますので、相談を受けてくださいという勧奨の通知を出しまして、職員のそういった対応をさせていただいています。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そういう相談を受けたらどうですかという指導をして、実質その相談を受けたという人はいるんですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 今年度はまだいません。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今こういう時代で、職員のストレスということと、それから長期休暇

とか、そういうところへつながる要素もあると思うんだよね。そういうことに関しては、職員の精神的な健康管理というか、そういうものにもつながることなんで、ただチェックをすりゃいいというもんじゃなくて、その結果を踏まえて職員の健全な仕事ができるような環境づくりをしていくということも大事なことなんで、しっかり取り組んでもらいたいと思うけれども、そこら辺のところどうですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） ストレスチェックもございますし、またそういった精神的な相談等も産業医に精神科の医師を配置しておりますので、そういった相談業務につきましても職員にそういった窓口がありますよということを、年度当初だったり、折を見て機会あるごとに促して、そういうものを対処していきたいというふうに考えています。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 04職員健康診断の助成なんですけど、対象は全職員ですよ。全職足すと800人ちょっと超えるんですけども、それでよろしいですか。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 正職員、非常勤職員等含めまして全職員を対象にしております。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 正職、非常勤のほかにも職員の方はいますよね、嘱託とかそういう、再任用とか全部入れてじゃないんですね。その辺は。

○委員長（金丸幸司君） 高鳥人事課長。

○人事課長（高鳥 悟君） 全員です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

これで2款総務費のうち人事課所管事業についての質疑を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩を10分とって、10時55分から再開いたします。

休憩 午前10時45分

再開 午前10時55分

○委員長（金丸幸司君） それでは、会議を再開いたします。

次に、総務課所管事業のうち2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費から6目情報管理費について説明を求めます。

石合総務課長。

○総務課長（石合雅史君） 大変お疲れさまです。総務課から平成31年度予算の概要につきましてご説明いたします。

初めに、一般管理費から情報管理費までを説明いたします。予算説明書40、41ページ、予算参考資料ナンバー2の5ページになります。

予算参考資料に基づき説明させていただきます。

款2総務費、項1総務管理費、目1一般管理費、12総務管理費は、予算額1,231万1,000円で、財源内訳中、その他の1万8,000円は白地図の売りさばき代を充てております。事業の概要は、職員の研修や会議への参加に伴う旅費、事務消耗品といたしまして9種24部の新聞購読料、議案書、予算書、決算書など議会にかかわる資料の印刷代、総務部指定3台の公用車の燃料代を含めた維持管理経費、電話交換手1人分の業務委託経費、また竜王庁舎宿直業務委託経費など経常的な経費内容であります。

次に、13文書管理事業は、予算額945万9,000円で、全額一般財源であります。主な経費として、自治六法ほか各種法令集などの追録加除経費、各庁舎間及び関係施設間における文書配送を行っているメール便運行経費、文書発送を円滑、迅速に行うための郵便料金計器に要する経費、また市例規集追録加除に要する経費のほか、市例規や現行法規のウェブ検索システム使用料、最新の行政事情を把握するために導入しております47ジャーナル情報サービス使用料、山梨町村会への法制執務サポート業務経費などであります。

なお、平成32年4月からの会計年度任用職員制度への円滑な移行を目指し、関係する例規の整備の支援業務委託を予定しております。

予算参考資料6ページになります。

次に、14国際交流事業は、予算額717万4,000円で全額一般財源であります。毎年、友好交流団の派遣と受け入れを交互に行っておりますが、平成31年度はアメリカアイオワ州キオカック市へ友好交流団を派遣、またオーストラリアのタラマラハイスクールの友好交流団受け入れを予定しております。これらの事業経費のほか、甲斐国際交流協会への運営補助、

また法令外負担金等の経費となります。

次の17竜王庁舎駐車場管理事業は、予算額1,497万3,000円で、財源内訳中、その他の804万円は職員から徴収する駐車場使用料を充てております。経費の内訳としましては、来庁者の安全確保及び車両誘導のために配置しております2名体制による駐車場等整理業務委託経費及び地権者5人への駐車場用地賃借料の支払いであります。

次の目2文書広報費、10情報公開行政不服審査事業は、予算額80万2,000円であります。財源内訳中、その他の2,000円は、情報公開等に伴う複写手数料を充てております。4人の委員が情報公開審査会、個人情報保護審査会及び行政不服審査会の委員を兼務しております。委員報酬のほか、保存年限を経過した行政文書廃棄処理経費、行政不服審査が提出された際の必要経費などを計上しております。

予算説明書42、43ページ、予算参考資料は7ページになります。

目3財務管理費、02財務管理費（契約係）は、予算額54万2,000円で、財源内訳中、その他の24万3,000円は請求書の売りさばき代を充てています。事業の概要は、請求書の印刷、作成や郵便料のほか、山梨県市町村総合事務組合で平成28年度から実施しております入札参加資格申請の共同受付事務への負担金の計上となります。

次の10財務管理費（管理係）は、予算額13万2,000円で全て一般財源となります。市が取り扱う公金が輸送中または保管中に火災や盗難、天災等により損害を受けた場合の保険料で、全国市町会へ支払うものであります。

次の目4財産管理費、01竜王庁舎維持管理事業は、予算額9,142万6,000円で、財源内訳中、その他の951万2,000円は市有地等の行政財産使用料、竜王庁舎内自動販売機等の設置使用料、また不動産貸付収入などの合計金額となります。事業の概要につきましては、竜王庁舎に要します電気、水道、ガス、灯油などの経費、電話や光通信回路の通信経費、各種設備の点検保守管理委託経費、複写機や印刷機、IT電話など事務機器リース料のほか、事務備品購入やコピー用紙などの配当消耗品の経費となります。なお、平成31年度は新館LED誘導灯ランプ及びバッテリー交換、また非常用発電機3台の購入を予定しております。

予算参考資料8ページになります。

03公用車維持管理事業は、予算額1,741万6,000円で全額一般財源となります。総務課管理の公用車10台分の維持管理経費のほか、公用車102台分の任意自動車保険料、また平成31年度に買い換えを予定しております7台分の公用車購入経費、並びに安全運転管理者関係の経費を計上しております。公用車につきましては、今後も共有車枠を設け効率的な使用形態

を確保するとともに、登録から14年、走行距離10万キロを基準に更新計画に基づき入れかえていく予定となっております。

次の04市有財産維持管理事業は、予算額1,273万5,000円で、財源内訳中、その他の1,273万5,000円は行政財産使用料、不動産売払収入、また事故保険金や保険還付金などを見込んでおります。事業の概要は、市有建物に係る災害共済保険料、また市民、学校予防接種などの賠償補償保険料のほか、市有地の除草や枝打ちなどの管理経費、財産瑕疵や交通事故等への賠償金を計上しております。

予算説明書44、45ページになります。

次の目6情報管理費、01情報化推進事業は、予算額1,469万円で全額一般財源となります。光ケーブルを初め、地上、デジタル回線等の移設工事及び維持管理経費、またパソコン端末共通機器等の購入や修繕費用、コンピューターウイルス対策ソフトやセキュリティーシステム管理ソフトなど情報セキュリティー対策経費のほか、山梨県市町村総合事務組合が運営する電子申請受付共同事業への負担金等を計上しております。

予算参考資料9ページになります。

02情報系システム運営事業は、予算額8,596万2,000円で全額一般財源となります。職員が使用します情報系ネットワークシステム全体の保守管理、運用に要する経費となります。また、リモート監視の回線使用料、グループウェアなどのライセンス更新に伴いますソフトウェア購入経費、パソコンのリース料のほか、平成31年度はネットワークサーバー及び情報端末機器250台の入れかえ経費を計上いたしております。なお、引き続き山梨県が構築している県情報セキュリティークラウド事業への負担金なども計上しております。情報系システムにつきましては、今後も国が進めております自治体セキュリティー標準化事業に順じ、物理的また人的セキュリティーの向上を推進し、情報管理、安全確保に努めてまいります。

次の03業務系システム運営事業は、予算額1億3,169万2,000円で、特定財源の国・県支出金239万1,000円は、社会保障番号制度システム整備補助金を見込んでおります。業務系システムは住民基本台帳を基盤に、税、福祉、子育て、保険など市役所業務全般に係るシステムとなります。これらシステムの維持管理、保守及び改修、運用に要する経費の計上となります。事業の概要は、情報系システムの維持管理、運用経費、各法改正等へのシステム改修への対応経費のほか、個人番号制度の運用に伴いまして、国が設置した中間サーバー共同利用負担金等を計上いたしております。なお、平成31年度におきましては、住民基本台帳ネットワークシステムの更新並びに業務系端末OSの更新を行う予定であります。

以上で目1 一般管理費の総務管理事業から目6 情報管理費の業務系システム運営事業までの説明とさせていただきます。

ご審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。

質問、答弁は簡潔に願いたします。

それでは、先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 説明書の情報管理費のところちょっとお聞きしたいんですが、この情報管理のシステム維持管理費とか業務系のシステムの維持管理というのが、これ毎年のことなんですが結構金額が大きいんですよね。最近というか、こここのところどんなような状態なんですかね。いろいろチェックはされていると思うんですが、多くなっているとか、現状のままとかというのは、その辺はどんな感じなんですか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 業務系の必要経費につきましては、現在使っている業務系システム、実は2年前に入れかえを行っております。その際に、住基、税系のシステムと福祉保健系のシステムを同一業者に委託をするという条件でプロポーザルを実施いたしました。その結果、従前の管理経費を5年間の中で2億円強経費の節減が図られております。年度で若干でこぼこがございますけれども、例えば備品等の買いかえ等が集中いたしますと、やはり若干途切れたりということもございますが、業者のほうに委託する経費につきましては、従前の委託よりも減額されているという状況でございますので、ご理解いただきたいと思っております。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 今課長の説明のとおり、努力されていると思うんですが、今後ともそのことに関しては、ぜひ点検して、このシステムの維持管理というのは結構な金額なものですから、ぜひそういうご努力をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に、所管以外の委員の質疑を許します。

質疑ございますか。

小澤委員。

○委員（小澤重則君） 7ページの財務管理費で入札参加資格共同受付事務事業、これが去年に比べて大分安くなっているんですが、どうしてでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 先ほども説明いたしましたけれども、平成28年度から山梨県の総合事務組合で行っている事業、これまでは各市町村が個別で入札参加の受け付けを行っておりますけれども、現在は総合事務組合の窓口一本ということで行っております。前回の受け付けのときは導入して日が浅いということで、事務組合のほうの1件に対する受付時間というのが非常に長うございまして、実はその辺の人件費がかなりあったというようなことで、若干その負担分が市町村のほうにかかってまいりましたので、そんな状況でしたけれども、今回、前回の経験が生かされているというか、その辺の受付事務の時間的な短縮が図られているということでの負担金の減額ということでご理解いただきたいと思います。

○委員長（金丸幸司君） 小澤委員。

○委員（小澤重則君） ということは、前回の決算では大分落ちたということでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 山田係長。

○契約係長（山田郁子君） 29年度の決算でございしますが、そのときは28万2,000円、30年度の決算見込み額が57万1,000円、31年度の予算が25万1,000円でございますが、先ほど課長が話しましたのを加えまして、31年度につきましては、30年度は定期的受け付けでございましたが、31年度は中間受付で受け付けの件数が少なくなりますので、隔年で多い年と少ない年となっているところでございます。

○委員長（金丸幸司君） 小澤委員。

○委員（小澤重則君） 1年目というか、そのペースは2年に一遍ということでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 山田係長。

○契約係長（山田郁子君） そのとおりでございます。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

清水和弘委員。

○委員（清水和弘君） 6ページの中でキオカック友好交流団派遣事業とありますけれども、団員18人、これは構成はどういう構成になっているんでしょうかね。

○委員長（金丸幸司君） 小林係長。

○総務係長（小林一三君） 派遣団の構成ですけれども、各市内の中学生15名、それとです

が、随行者3名の合計18名ですが、派遣を予定しております。

○委員長（金丸幸司君） 清水和弘委員。

○委員（清水和弘君） 引き続き、76ページの17番、駐車場の賃貸料というのがあるんですけども、これは多分、庁舎周辺の駐車場だと思われましてけれども、平米数と坪単価というか、その辺はどのようになっていますでしょうかね。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 駐車場は5名の方から借りておりまして、総面積9,927平方メートル、それに要します賃借料719万7,000円でございます。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

五味委員。

○委員（五味武彦君） 7ページの竜王庁舎の維持管理のほうで、先ほど課長が非常用電源発電機3台購入予定だということなんですけど、これは不足だったのを補充するのか、金額的にも1台どのくらいなのか、どういう用途なのか、ちょっと教えていただけますか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 非常に電気を使って、あそこのところもそうですけれども、そういった電力需要に対応するためには現状の発電機の数では少ないということで、バッテリーを買う、発電機を予定しております。1台当たり約20万円を見込んで、台数は3台ということをご予定しております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） そういうのはどこへ置くんですか。いつもは北側にブースがあるんですけども、その通路のところなんですか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） ふだんの保管場所につきましては、この本館の地下に電気室がございますので、そこへ収納して、いざというときに使用するという予定でございます。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

加藤委員。

○委員（加藤敬徳君） 8ページの04のところには先ほど賠償補償の保険料という説明がありましたけれども、それ以外に事故の賠償金というのが別途にあるんですけど、こういうのって

というのはその保険の中で見てもらえないのでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 当然、保険金として支払われる分保険会社のほうから保険料として市のほうへ振り込みがなされますが、実際に相手側に支払う場合、その場合すぐに対応しなければならないということで一般会計のほうから一時的な立て替えというような形で支出している状況でございます。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 5ページの12竜王庁舎の宿直業務なんですけど、これ入札だと思うんですけども、何年ごとでしょうか。ちょっと昨年よりは少し上がっているようなんですけども、金額が。その辺教えてください。

○委員長（金丸幸司君） 小林係長。

○総務係長（小林一三君） 竜王庁舎の業務委託料につきましては、昨年度に比べまして21万9,000円ほど増額をしておりますが、主な理由としましては、消費税が増税が10月から見込まれますので、そうした経費が増額になりますので、そういったもので予算計上しております。新年度になりましたら入札を行いまして、新たな業者と契約を締結する予定で考えておりますけれども、昨年度の増額の理由は、そういった形で若干上乘せで計上させていただいております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

5ページの例規集なんですけれども、前年度に比べては大分何かいろんな内容を言っていたんですけども、ふえたいろんな内容が。金額もちょっとふえているので、もう一回すいませんけれども、例規集だけではなくて、内容をちょっと教えてください。

○委員長（金丸幸司君） 小林係長。

○総務係長（小林一三君） 文書管理事業ですが、増額の主な理由としましては、先ほど課長も説明されましたけれども、来年度、平成32年度から会計年度の任用職員制度が導入されるということに伴いまして、そうした現行例規の一部改正とか、新たな要綱等の制定が必要になりますので、そうした制度の導入に伴いまして関係例規の整備費用がかかるということ

で166万ほどですが増額をしております。それが主な理由ですので、そうしたことで整備関係ということで増額をされております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

あと、6ページの入庁者の駐車場なんですが、その他の財源が職員からというお話ですが、昨年から50万近く上がっていて、一般財源は下がっているのでもいいんですけども、これ駐車場を借りる職員がふえたということなんですか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 車で通勤できる職員、2キロ以上の職員を一応許可している状況でございますけれども、若干駐車スペースにゆとりがあったものですから、2キロ未満の職員にも駐車場を開放をいたしまして、現在貸している状況でございます。その増加分等が予算の増額にもつながったということでございます。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 情報公開の10のところ、6ページの10ですが、廃棄処理の経費ありますけれども、これ何年置いておくんですたっけ、毎年ですか、この廃棄処理というのは。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 不用となりました行政文書につきましては、毎年処理を行っております。3庁舎にコンテナ等を設置いたしまして、溶解処理を実施しております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 全部を毎年ではないですよ、残しておく書類もあるんですよ。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 文書管理規程によりまして、それぞれの文書の保存年限というのが定められております。保存年限を経過した文書についての処分となります。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 7ページの財産管理の交付金の総合保険なんですけれども、この13万2,000円ですが、先ほど火災、盗難、全国市町会へというお話でしたが、どんなものでも

これは対応できるということなんですか。例えばどんな金額のものでもとか、それから回数とか、そういったこと関係なくあるんでしょうか、その保険の内容というのはどのぐらいのものを保険で対応してくれるんでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 保険金の額でございます。支払われる保険金の額というものでございますけれども、積算根拠といたしましては平成28年度の一般会計の歳入決算額が268億2,081万9,000円ほどです。これの20%ということで53億6,400万円ほどが保険の額となっております。

以上です

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） そうしますと、20%は保証してもらえますが、ほかにも何かこういうこと、保険とか何かほかを考えていることありますか、これだけですかね。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 現状につきましては、現在加入しております公金の総合保険で対応していくつもりでございます。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 先ほど7ページの発電機3台の話なんですけれども、地下に管理しておくというお話ですけれども、要するに、水没の危険というのは、竜王庁舎というのは水はありますよね、それで水深の被害を受ける高さも、この間のハザードマップか何かで変わって、もっと深くなったと思うんですよね。本当に心配しているのは、あそこの非常用電源のところを囲っていただきましたけれども、あれ自体、私はちょっとあの高さというのは、本当はもうやり直してもらいたいなと思っているぐらいなんですけれども、しかも、地下にまた発電機を置くとなると、もし水没しちゃってまた停電となったときに、地下じゃ使えないんじゃないかなとちょっと今思ったんですけれども、ほかにもっと上のほうに置いたほうがいいと思うんですが、その辺どんなふうにお考えでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 久保田係長。

○管理係長（久保田 浩君） ご質問の発電機なんですけど、携帯用の10キロ程度のものですので、地下から持ち運んで上のほうで使うような形を考えております。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 地下から運んでって、最初からわかっているわけですから上に置いた

ほうがいいと思います。場所に関しては、上に置くところないんでしょうけれども、水が来たときにわざわざ行ってということができればいいけれども、もしかしたらそんなこと間に合わないで使えなくなっちゃう可能性もあるので、もう少し考えたほうがいいんじゃないかなと思いますけれども、要望ですけれども、それちょっと考えていただきたいと思います。

8ページの04の市有財産の管理のところなんですけど、昨年の予算に比べるとふえているんですね。これはどこか場所がふえたということなんだろうかな、財産管理する場所が。去年もいろいろ場所は聞いたんですが、それ以上何かふえたということなんですか。

○委員長（金丸幸司君） 久保田係長。

○管理係長（久保田 浩君） 今考えているのは、市有財産の中で倒木等の被害のおそれがあるようなところについて伐採を考えております。あともう一つは、売却についてインターネットでの売却の関係で、売却時に3%の手数料があるんですが、そちらのほうも見込んで計算しております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

清水正二委員。

○委員（清水正二君） すいません、しつこくなりますけれども、先ほどの非常用電源の発電機なんですけれども、多分、重さが10キロぐらいのものだというふうな話で、私の思うのに、大体それだと2キロワットぐらいのものだと思うんですけれども、当然そういったものというのは発電する際に排気ガスとか伴うんですね。そうであれば、もうちょっとそこら辺のところ、非常用ということであれば何か考えないと、金額が金額だからということじゃなくて、非常用のときにそういったことというのも考えないと思うんですけども、どうですか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 実は、実際に使用する場合に、設置場所等は当然排気ガス、あとは安全管理等の面もございますので、適正な場所を選択して使用してまいりたいというふうに考えております。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

次に、総務課所管事業のうち、10目固定資産評価審査委員会費から4項選挙費について

説明を求めます。

石合総務課長。

○総務課長（石合雅史君） 引き続き説明をいたします。

予算説明書48、49ページ、予算参考資料は9ページとなります。

款2総務費、項1総務管理費、目10固定資産評価審査委員会費、01固定資産評価審査委員会費は、予算額7万8,000円で、全額一般財源であります。本委員会は地方自治法第180条の5の規定に基づく法定委員会であります。事業の概要は、3人の審査委員会委員の報酬のほか、ことし7月に開催されます固定資産評価審査委員会運営研修会への参加経費等を計上しております。

予算説明書52、53ページ、予算参考資料は10ページになります。

項4選挙費、目1選挙管理委員会費、01選挙管理委員会運営事業について説明をいたします。

本委員会につきましても、地方自治法の規定に基づく法定委員会であります。予算額は51万4,000円で、特定財源の国・県支出金1万円は、在外選挙人名簿登録事務交付金を見込んでおります。事業の概要は、選挙管理委員会委員4人の報酬のほか、選挙啓発や専用封筒等の印刷に要する事務費、郵便料及び法定外負担金の計上となります。平成31年度も引き続き市内の学校機関と連携しながら選挙出前事業等に取り組み、学童年齢からの有権者教育を推進してまいります。

次の目4県議会議員選挙費は、本年4月29日に任期満了を迎える山梨県議会議員選挙に要する経費となります。内訳は、01の県議会議員選挙職員費に193万1,000円、予算説明書54、55ページになります、02の県議会議員選挙執行事業に1,130万6,000円を計上いたしております。内容は、選管事務局職員の手当、ポスター掲示場撤去のほか、投票立会人の報酬、投開票の従事者への手当等でございます。なお、財源は全額県からの委託金を見込んでおります。県議会議員選挙につきましては3月29日に告示、4月7日の投開票の日程で執行されます。

予算参考資料11ページになります。

目9参議院議員選挙費、01参議院議員選挙職員費482万5,000円、02の参議院議員選挙執行事業1,897万円は、本年7月中旬に予定されております参議院議員通常選挙に係る予算計上となります。内容につきましては、他の選挙と同様、選挙管理委員会事務局職員の手当、ポスター掲示場、入場券の印刷及び郵便料、投票立会人等の報酬、投開票事務従事者手当など

の経費となります。なお、国政選挙でありますので、執行経費につきましては全額国からの負担金を見込んでおります。

以上、総務管理費の固定資産評価審査委員会費から選挙費の参議院議員選挙費までの説明とさせていただきます。

ご審議のほどよろしく願います。

○委員長（金丸幸司君） これより、説明に対し質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 9ページの下の固定資産評価審査委員ですが、会議などは年間どのぐらいやっているんですか。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） 定例会といたしますか、こちらへ来ていただく会議、通常何もなければ年1回、それから研修会で1回というような参集の状況となっております。

なお、不服審査申し出が出された場合、それに対します審議等がありますので、当然出席される日数等はふえてまいります。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 選挙管理運営費のところで、選挙の啓発運動に12万3,000円を計上してあるんだけど、いつもこれ問題になっているけれども、本当に投票率が低くて、この間の知事選なんか山梨県が一番低かったね、甲斐市が。これも12万3,000円と予算が少ないんだけど、何らかのもう少し方法を考えていく必要があるんじゃないかと思うんだけど、その辺はどうでしょうか、課長。

○委員長（金丸幸司君） 石合課長。

○総務課長（石合雅史君） ご質問のとおり、過日の知事選におきましては投票率51%台ということで県下最下位という非常に不名誉な投票率を記録してしまいました。毎回の選挙ですけれども、広報「甲斐」でお知らせしたり、あとホームページ、さらには防災無線等で投票の呼びかけ、また戸別のチラシ等も各戸に配布する中で投票を呼びかけておりますけれども、このところ非常に低い投票率が続いているという状況でございます。

我々は、選挙管理委員会事務局の職員といたしましても、何か向上させる手だてはないか

というようなことで、今回の4月号の広報には、前回の知事選の投票率、県内市町村の投票率を一覧で棒グラフに並べまして、甲斐市がいかに低かったかということをも市民の皆さんにごらんいただくというようなイメージで1ページを割いております。また引き続き、学童年齢からのこういった出前授業等に取り組みまして、若いときからの有権者教育等も力を入れてまいりたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） ありがとうございます。

職員の皆さんが大変な努力しているということは我々もわからないわけじゃないんだけど、結構選挙が低いんでね。その辺の啓発運動も、中身ももっと検討して、選挙管理委員の人たちも4人いるわけだから、その辺のところまたよく相談した中で、少しでも投票率を上げるように今後努力してもらいたいと思います。これは要望でいいです。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（金丸幸司君） なければ、所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

清水和弘委員。

○委員（清水和弘君） 今のにちょっと関連していることで、直接的には関係はないかもしれませんが、お聞きしたいのは、ポスターの掲示板の位置なんですけれども、これは、随分地形が変わったり、住宅地が変わったりしているので、場所を考えるとということはないでしょうか。変更するというような、考え直すという。

○委員長（金丸幸司君） 小林係長。

○総務係長（小林一三君） ポスター掲示場につきましては、市内に150カ所ですがお願いをしまして、選挙の告示前の一定期間、あと選挙期日後ある期間まで発注をさせていただいております。ただ、それぞれの選挙におきまして、例えば候補者数もそれぞれ異なりますので、例えば市議選の場合については30区画、県議選の場合については6区画とか、応募者数の予想に伴いまして幅も異なってきますので、それぞれの選挙におきまして土地の利用の状況等も調査をしまして、支障がある場合については、その近辺ですが移させていただいて、土地の利用者の方にお願ひして設置をさせていただいておりますので、もし、例えば開発等に伴いましてそういったものが交通に支障が生じるようなそういったケースがありましたら、こちらの選管の事務局のほうで調査をしまして、適宜、設置の場所を変更させていただくと

いう対応をとらせていただきますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

清水正二委員。

○委員（清水正二君） すいません、数字的なことなんですけれども、10ページと11ページの今の選挙費なんですけれども、県議会議員と参議院選挙のコピー機の読み取り分類経費を見ると、県議会議員の選挙と参議院の選挙で、我々が見た目でいくと参議院選挙のほうが何か手がかかるような気がするんですけども、予算的に若干ですがこれだけ違うのはどういう内容なんでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 小林係長。

○総務係長（小林一三君） すいません、県議会議員の選挙につきましては、4月の当初ということ肌寒い日ということもございますので冷暖房のレンタルをちょっと見込んで、その分が19万5,000円ほどということ考えておりますので。参議院は夏なのでそういった冷暖房かかりませんので、その分の差になっております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了します。

これで2款総務費のうち、総務課所管事業についての質疑を終了いたします。

ここで暫時休憩します。

休憩 午前11時44分

再開 午後1時14分

○委員長（金丸幸司君） それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

説明、答弁については簡潔にお願いいたします。

次に、2款総務費、1項総務管理費のうち防災危機管理課所管事業、3款民生費、5項災害救助費及び9款消防費について説明を求めます。

長谷川防災危機管理課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） お疲れさまです。防災危機管理課より防災危機管理課

関係の当初予算の説明をさせていただきます。

それでは、予算参考資料は12ページ、予算説明書は46、47ページをお願いいたします。

なお、説明につきましては予算参考資料のナンバー2により事業ごとに説明をさせていただきます。

まず、2款総務費、1項総務管理費、9目交通安全防犯対策費、02交通安全対策関係嘱託・非常勤職員等費につきましては、当初予算額854万4,000円をお願いするものであります。事業概要につきましては、専門交通指導員の報酬6名分と、あとは社会保険料であります。なお、社会保険料につきましては3時間勤務の2名を除いた4名分の経費となっております。

次に、10交通安全指導員費につきましては、当初予算額53万2,000円をお願いするものであります。事業概要につきましては、交通指導員をお願いしております20名分の報酬、報償、専門交通指導員に係ります被服費、損害保険料等であります。

次に、11交通安全施設整備費につきましては、当初予算額600万円をお願いするものであります。事業概要につきましては、主にカーブミラー等、交通安全施設の修繕、設置工事の経費であります。カーブミラーの新設は30基、修繕は40カ所ほどを予定しております。

次に、12交通安全対策費につきましては、当初予算額370万7,000円をお願いするものであります。事業概要につきましては、交通安全教室啓蒙品や郵便料等、それから交通安全関係団体への補助金でございますけれども、交通対策推進協議会並びに葦崎交通安全協会の竜王・敷島・双葉地区の3支部と母の会への補助金であります。

次に、14防犯対策推進事業につきましては、当初予算額2,640万8,000円をお願いするものであります。事業概要の主な事業につきましては、青色防犯パトロール業務委託、LED防犯灯の設置工事費、LED防犯灯導入事業に係るリース料、それから防犯灯維持管理費補助金ということで、各自治会が管理いたします防犯灯に係る電気料と修繕等に要した経費に対する補助金等であります。

次に、予算参考資料は13ページ、予算説明書は48、49ページをお願いいたします。

2款総務費、1項総務管理費、14目諸費、04自衛官費につきましては、当初予算額8万9,000円をお願いするものであります。財源内訳の国・県支出金3万9,000円につきましては、自衛官募集市町村交付金であります。事業概要の主な事業につきましては、自衛官募集の広報掲載記事経費、自衛官募集相談員8名分の年会費等であります。

次に、予算説明書は74、75ページをお願いいたします。

3款民生費、5項災害救助費、1目災害救助費、01災害救助費につきましては、当初予算1,000円をお願いするものであります。災害弔慰金の支給に係る存置であります。

次に、予算説明書は102ページ、103ページをお願いいたします。

9目消防費、1項消防費、1目常備消防費、01常備消防負担金につきましては、当初予算額8億7,274万6,000円をお願いするものであります。事業概要の主な事業につきましては、甲府地区広域消防事業会計への負担金、峡北広域消防事業会計への負担金、峡北消防本部庁舎建設事業費負担金等であります。

次に、予算参考資料は14ページをお願いいたします。

2目非常備消防費、01消防委員等費につきましては、当初予算額1,839万6,000円をお願いするものであります。事業概要の主な事業につきましては、消防委員10名分並びに消防団員590名分の年額報酬、消防団出初め式に係る記念品と隔年度実施をしております消防団の幹部研修等であります。

次に、02消防団装備費につきましては、当初予算額486万2,000円をお願いするものであります。事業概要につきましては、消防団員に対しての編み上げ靴、活動服、アプロキャップや消防車両用の備品といたしましてホース、吸管等の備品購入費であります。なお、平成31年度予算につきましては、全団員のアプロキャップを更新する経費をお願いしております。

次に、03消防団活動費につきましては、当初予算3,169万1,000円をお願いするものであります。財源内訳のその他14万2,000円につきましては、福祉共済事務費2万9,000円並びに福祉共済返戻金11万3,000円であります。事業概要の主な事業につきましては、消防団員に対しての公務災害補償負担金、消防団員の火災出動等におけます費用弁償、総合訓練等消耗品、消防車両の燃料及び郵便料、消防団員の退職報奨金、負担金等であります。

次に、予算参考資料は15ページをお願いいたします。

3目消防施設費であります。01消火栓負担金につきましては、当初予算額400万9,000円をお願いするものであります。事業概要につきましては、消火栓の設置、修繕に係る負担金、消火栓維持管理負担金であります。

次に、02消防施設維持管理事業につきましては、当初予算額669万8,000円をお願いするものであります。財源内訳のその他669万8,000円につきましては、入湯税666万8,000円、火薬類手数料1万円、消火栓備品売払収入2万円であります。事業概要につきましては、消防詰所の維持管理費としまして燃料、光熱水費、補修料等、消防車両39台の維持管理経費

としまして消耗品、修繕料、車検手数料、保険料等、それから消火栓に係るボックス乾燥等の備品購入費であります。

次に、03消防施設整備費につきましては、当初予算4,830万円をお願いするものであります。財源内訳の市債4,550万円につきましては、合併特例債、その他8万4,000円につきましては入湯税であります。事業概要につきましては、消防車両5台の購入費であります。

予算説明書は102ページから105ページをお願いいたします。

次に、4目水防費であります。01水防対策事業につきましては、当初予算額84万9,000円をお願いするものであります。事業概要につきましては、水防対策に伴う消防団員の出勤における費用弁償、土のう袋と消耗品、川砂の購入費等であります。

次に、予算参考資料は16ページ、予算説明書は104、105ページをお願いいたします。

5目災害対策費であります。02防災無線施設維持管理費につきましては、当初予算額1,471万1,000円をお願いするものであります。事業概要の主な事業につきましては、防災行政無線の電気料を初め、保守点検委託料や修繕料、電波伝搬調査委託、Jアラートシステム配信連携対応の委託料等であります。なお、電波伝搬調査は甲斐市の北部及び南部の地域について電波が届きにくい状況を解消するために中継局の設置場所の選定を前提に行うものであります。また、Jアラートシステム配信連携対応は、Jアラートで送信した緊急情報を自動で市のホームページのトップページに掲載できるようにするものであります。

次に、03自主防災組織補助事業につきましては、当初予算額900万円をお願いするものであります。事業概要につきましては、自主防災組織に対しての防災訓練、防災資機材整備に対しての補助金であります。

次に、予算参考資料は16ページ、17ページをお願いいたします。

04災害対策整備事業につきましては、当初予算額1,599万3,000円をお願いするものであります。財源内訳の市債430万円につきましては、緊急防災・減災事業債であります。事業概要の主な事業につきましては、非常用備蓄食料としてアルファ化米や簡易トイレ消耗費品等の購入費、避難所用備品等といたしまして蓄電池、寝袋、投光器の購入費、それから衛星携帯電話11台と携帯電話2台の電話使用料、防災メール配信システムの保守、被災者システム導入委託料等であります。なお、被災者支援システムは、大規模な災害が発生した場合、住民基本台帳データ等と連携することにより、避難所の入退所情報や罹災証明書の発行、仮設住宅の管理等、被災者に関する各種の情報を被災者台帳として一括管理することができるものであります。

次に、05防災委員運営費につきましては、当初予算額126万9,000円をお願いするものがあります。事業概要につきましては、各地区の防災リーダー役を担っていただいております防災委員136名分の報酬と郵便料であります。

以上、防災危機管理課関係の当初予算の説明をさせていただきました。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 12ページの下の方の防災対策で青色パトロールですが、この常備委託先はどこなんですか。余り青色パトと出会わない。

○委員長（金丸幸司君） 樋川消防防犯係長。

○消防防犯係長（樋川浩一君） 防犯パトロールにつきましては、公益財団法人の山梨県防犯協会のほうへ委託をお願いしております。

○委員長（金丸幸司君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 14ページです。消防団員のほうでちょっとお聞きしたいんですが、各部落なんかには班が一応あるわけですよね。例えば大きい団地なんかで班のないところも結構あるように聞いているんですが、市内ではどうなんでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 委員さんのおっしゃるとおり、何々団地というふうな自治会が例えばあったとしまして、そこから団員が所属していない自治会も幾つかあるように把握しております。

○委員長（金丸幸司君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 実は、古い自治会なんかでは人数がいらないけれども、結構な数の団員を出しているところもあるんですよ。その一方では、団地なんかの場合ほとんど団員がいらないということで、何かあったときにはよそから来てもらうみたいだね。それでは自助・共助のあれにならんですよ。やっぱり団地もそれだけ規模があり、自治会があるのであれば、ある程度団員を供給する義務もあると思うんで、ずっと今までもそういうことをよく聞いているんで、きちんと指導されたらどうかなと思います。これは意見です。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 13ページ、私、広域抜けちゃったんで、甲府地区広域消防の負担金の件で、どういうシステムでどういうふうだったかちょっと忘れちゃったんだけど、29年の決算、30年の予算、31年の予算で比較していくと年度ごとに2,000万ずつぐらい上がっているんだけど、この31年の予算は決算見込みだろうと思うんだけど、何か理由があってそういうふうになる、段階的に何かあったかね。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 委員さんが今ちょっと触れたわけですがけれども、甲府地区の広域行政事務組合で構成市が甲府市、それから甲斐市、それから中央市、昭和町というような構成になっておりますけれども、平成26年度まで甲府市が基本財政需要額の86%、それから、それ以外の市町村については73%という形で負担金を徴収しておりましたけれども、全て同じ段階を踏んで、5年間の経過措置をとって31年度に甲府市、それから全ての市町村が80%になるようにしましょうねということで議決されまして、それに伴いまして年々、若干ずつパーセントがふえているということでございます。

○委員長（金丸幸司君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） そうすると、31年度予算だから、ここで、これと安定的に、数字が微妙な差しか出ないようにしていくということね。段階的に負担がふえたけれどもということですね。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） そのとおり、31年度で甲府市、それからその他の市町村も80%という形になりますので、甲斐市については若干基準財政需要額の動向によっては変動するかと思いますけれども、基本的には一定の金額になるかと思います。

○委員長（金丸幸司君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） あと1点、すいませんね。14ページの消防団の装備費の部分も、年度によってうんと金をかけてくれたり、うんと絞ったりというふうに見えるんだけど、装備費だから、できるだけいい環境で元気に働いてもらうための用具なんで、もうこれで各団にみんな間に合うという話ではないだろうと思うんだけど、お金があるとやってやる

けんど、お金がないとやってくれんじゃ、ちょっと何だと思うんだけど、その辺はどうですか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 通常であれば、消防団員の装備、作業服とか、今回予算を組ませていただいたアポロキャップとか、そういったものについては新入団員、それから破れてしまったとか、そういった着られなくなったものの交換という形で計上させていただいておりますけれども、昨年度は消防団員の活動服の基準が変わったということで、今年度、30年度については活動服、全団員の分を更新させていただきましたので、例年に比べてふえているという形になります。来年度につきましては、その分減りますけれども、アポロキャップを全団員の分更新させていただくということで計上させていただいているところであります。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） まず初めに、15ページの03消防施設整備のことについて。この中でポンプ小屋が788万とあるんですけども、これは場所はどこですか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 敷島の5分団2部の管轄になります。

○委員長（金丸幸司君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） そうしますと、これはかなりの額なんですけれども、新しくつくるといいますか。

○委員長（金丸幸司君） 樋川係長。

○消防防犯係長（樋川浩一君） 藤原議員がおっしゃいますとおり、今回改めて建てかえということで新しくポンプ小屋のほうを建築させていただきたいと考えております。

○委員長（金丸幸司君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

じゃあ、その中で今年度、消防車5台を購入するということですけども、約4,000万ですね、市債の財源内訳がかなりあって、それはそれとして、この5台というのはほとんど軽四とかじゃなくて普通車なんですか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 参考資料の事業概要のところ今回更新する分団の表

示をさせていただいております、竜王1の3、2の3、それから敷島2の1と双葉の2の2、2の4という形で5台という形になっております。竜王の分団につきましては普通自動車の積載車、それから敷島・双葉地区につきましては軽自動車の積載車という形になっております。

○委員長（金丸幸司君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

じゃあ、もう一点だけ、次のページに進めて、16ページ、02防災無線施設の中で、ちょっとここにはないんですけども、以前からも言われたように、古いというか、火の見やぐらという鉄骨の建物がまだ甲斐市にも何カ所かあるんですけども、よく周りの人からも、管理をちゃんとしていないと根腐れとかそういうことで大変危険な箇所もあろうじゃないかということが何年前前にあって、その後、こういう点検というのはしてるんですかね。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 各消防団のほうに火の見自体の危険性とか、あるいは半鐘が火の見の上にありますので、あぁいったものは風で常時揺れているような状態ですのですり減って危険な場合もあるということで、それについては消防団のほうに確認をさせていただいておりますし、最近では上篠原の火の見がちょっと、過去にぶつけられたというようなことで若干斜めになっているというようなことがわかりまして、修繕を行ったところあります。

○委員長（金丸幸司君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） わかりました。何カ所かあるわけですけども、ぜひそんなことを踏まえまして、いろんな形の中で維持管理というか、しっかり耐震をしなきゃならないということもあるし、中には、もう潰してもいいじゃないかという話も聞くんですけども、そういう点も今後よく話し合っていていただきたい、こんなふうに思います。

以上であります。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 16ページの防災無線管理、そこに防災無線・行政無線・電波伝搬調査委託100万があるんですけども、これの内容について説明してください。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 現在、防災行政無線につきましては、平成22年、23

年度の2年にかけてデジタル化を行いました。現在は竜王ナンバー親局がありまして、双葉支所のところに中継局がございます。竜王、敷島については、ここの親局から電波を飛ばしまして竜王の南部、それから敷島の北部まで電波を飛ばしているところですが、やはりなかなか防災無線が、きのうは聞こえたけれどもきょう聞こえなくなってしまうというようなことも、マルチパスとか、いろんな自然現象やそういった原因もあるわけですが、なかなかそういったことが継続的にあるというような形で、今回中継局を設けるのを前提としましてこういった調査をさせていただくように計上させていただきました。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、今そういったふぐあいが出ていて、これを調査して、また今後のそれに対応する何か対策というか、そういうものをやるための調査ということ。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 今回、31年度につきましては、こういった電波の調査をさせていただいて、32年度以降に中継局の設置等の経費を計上させていただくように考えております。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） あと、その下のJアラート配信連携対応委託ということで、これ前年度に新型Jアラート導入工事をやったわけだけでも、それに対する配信連携対応委託というのがある、これはどういうあれですか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 今回、市のホームページがことしの4月からリニューアルするというので、それに伴いまして今、予算を計上させていただきましたけれども、Jアラートの配信を即座に市のホームページに掲載できるシステムというか、ものがメニューとしてあるんですけれども、その連携をとるための経費を今回予算でお願いをするところであります。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬防災減災係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） このJアラートシステム、去年の新規に入れたものとは違うものでして、ホームページが新しく今回なる形で、そこのトップページに、例えば震度4以上が来たとか、大雨の警報が出たとか、そういうのがJアラートで発信されたときに、その情報がホームページのほうへ直接飛んでアップされるという形が構築されていく費用になっています。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そうすると、今やっている防災行政無線流れる Jアラートあるよね、これはその情報伝達の手段としてホームページのほうの予算計上という、そういう考え方でいいんですか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） そのとおりでございます。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 最後のページ、17ページの新しい項目のようだけれども、被災者支援システム導入委託って、これは新しい事業になるんだろうと思うんだけれども、内容と、これが単年度でこの430万で全部終わっちゃうのか、これからまだいろいろかかっていくのか、その辺を教えてください。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） お答えします。

新しくこれ盛る形となります。今回ここに予算を盛ってあるのは、初期の導入、購入の費用になっていまして、来年以降、保守委託という形での費用がかかっていく形になります。

新システムの内容としては、主に被災者台帳の作成、罹災証明書の作成、避難所関連の様式と、あと仮設住宅物資の管理といったシステムの内容が入っているものとなります。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） これが今までなかったということが、私らの認識的にすると、あれだけ災害があって、今までそういうものに対応してこようと思っても予算がなくてできなかったということなのか、非常に多いから、急に、おい、何とかしないと困るなという形で検討したのか、どっちなんですか。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬防災減災係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） このシステム自体が幾つもあるようなシステムじゃないです。今ここの中にあるシステムというのはほかにも出ているんですけども、実際、今までの中でこれを使っているところの自治体とかにも確認をとったんですけども、その制度といたしますか、そういうものに対して一概に入れていいかというところが、まだ判断がつかなかったというところがありまして、ちょっと検討する時間というのを長く持っていたところであ

ります。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） 防犯灯のことでお伺いしたいと思います。

12ページの防犯対策推進事業、2つ目の項目にLED防犯灯設置工事というのがあります、236万と。これ何基ぐらいの予定なんですか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 新規にLED防犯灯設置という形で、通常は電柱にしておりますけれども、それが60基、あと電柱がないようなところについては単独柱を立てるわけですが、それを1基予定しております。

○委員長（金丸幸司君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） 60基プラス1基だと思うんですが、現在、自治会等々から申請、設置依頼がされているのは、これで十分クリアできるという考え方でしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 樋川係長。

○消防防犯係長（樋川浩一君） 今年度の防犯灯の申請につきましては、3月に入りましても申請がありますので、今のところ5台ほどちょっと新年度のほうへ対応させていただく形にはなっておりますけれども、自治会長のほうには納得をさせていただいておるところであります。

○委員長（金丸幸司君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） 新年度へ5基ということは、再来年度のほうに5基ということ、それとも……、ちょっともう一回。すいません。

○委員長（金丸幸司君） 樋川係長。

○消防防犯係長（樋川浩一君） 申しわけありません。今回の来年度の予算計上の中で防犯灯の設置につきましては十分足りると考えております。

○委員長（金丸幸司君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） もちろん私道であるとか、いろんなところで防犯灯をつけられないということはわかりますけれども、一応、自治会等の要請でもクリアできるという判断でいきたいと思いますが、その一つ飛んで防犯灯のリース料、これはたしか四、五年前から始まったと思うんですね、このリース料自体は契約は何年でしたっけ。そこだけちょっと教えていただきたい、初年度から数えて。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 平成27年度に関係省の補助金を活用して整備させていただいたものでございまして、採択要件が9年以上のリースという形ですけれども、10年のリースで契約をしております。

○委員長（金丸幸司君） 五味委員。

○委員（五味武彦君） 確認ですけれども、このリース料が今例えば1,100万あるけれども、5年後ぐらいにはがくっと減って、それを再リースするかとかいう時期が5年か6年後には来るということでもいいんですか。安くなるということなんでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） リース期間が10年という形になりますので、それが経過した段階では、現状であれば、今業者のほうで管理している防犯灯全て6,345灯がこのリース物件になりますけれども、全て市というよりも、実際には自治会のほうで管理していただく、従来どおりの形になるかと考えております。

ただ、リース更新時にさらに再リースするかどうかという検討は行いたいというふうを考えております。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

伊藤委員。

○委員（伊藤 毅君） すいません、16ページの03自主防災組織補助事業900万円、ここをもう少し詳しく教えてください。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） 自主防災組織補助事業につきましては、自主防災組織の訓練補助として400万、資機材の補助として500万という形での内訳となっております。内容としましては、訓練のほうにつきましては自治会が年1回行う防災訓練のときに行う訓練に対する補助として出している金額を盛らせていただきます。自主防災組織の資機材という形は、自治会が装備しておく防災の資機材への補助という形での補助金を出しているのがここにのっかっているという形になってございます。

○委員長（金丸幸司君） 伊藤委員。

○委員（伊藤 毅君） 通常の今自治会でやっている防災訓練等ということが対象で、例えば今新しく出ている動きで、自主防災意識の高い人たちが本当の自治防災組織というのをつくり始めているんですけれども、そういった方たちは対象ではないということですか。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） 自治会として自主防災組織を立ち上げて活動していく中であれば、資機材の補助、自治会のほうの補助を使ってももらっても構わない、訓練については、防災訓練を年1回やっているところの補助となっていますが、限度額10万円という形がありますが、その以内であれば訓練を何度もやってももらって、その補助金を使ってももらっても構わない形です。

○委員長（金丸幸司君） 伊藤委員。

○委員（伊藤 毅君） そうすると、例えば町内の中でも自治会とは全く関係なしに志高い人たちが10人、15人とだんだんふえてきた状態で自主防災組織が膨れ上がってきているんですけれども、あくまでも自治会と連携というか、リンクしない限りは補助はもらえないという現状ですね、そうだ。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） 全く自治会と別という形、全然自治会には属さないという形であると、ちょっとその補助金という形が、今自治会宛てに出している補助金という形になりますので、ちょっとそこところは難しくなるかと思うんですけれども、ただ、自治会を交えての連合みたいな形でやる防災組織という形であれば、それは補助として出していきたいと思っています。

○委員（藤原正夫君） ほかに質疑ございますか。

清水正二委員。

○委員（清水正二君） 今さらながらという気がするんですけれども、14ページの9款1項2項で、予算書の103ページにあるんですけれども、説明を受けて、この中身のものはこうやって理解するんですけれども、この節のところに9節旅費という形でもって1,394万8,000円とあるんですけれども、この旅費がこの金額あるんですけども、この中で旅費として該当するものが私わからないんですけども、教えていただけますか。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） すいません、消防団活動費の消防団員出動費用弁償費1,300万という形のことでよろしいですかね。これについては、消防団員が火災の出動、あるいは火災以外で啓蒙とか警備とか、台風のときの出動とかございますが、そういったものが出ていただいたときの手当になります。

○委員長（金丸幸司君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 出のほうに関しては別にあれなんですけれども、その扱いが旅費という形って、これいいんでしょうか。ほかのはみんな活動費とか、そういった費用弁償……。

○委員長（金丸幸司君） 長谷川課長。

○防災危機管理課長（長谷川秀明君） 予算科目は9旅費という形になっておりますけれども、内容は、今ご説明いたしましたように消防団の出動手当ということで、予算のほうの間違いでございます。

○委員長（金丸幸司君） 清水委員。

○委員（清水正二君） わかりますけれども、扱いとして、それが旅費でいいのかどうかというのを聞いているんです。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） ここに盛られているのは旅費の中の費用弁償という形になっております。旅費の中の科目にある費用弁償という形になっておりますので、この旅費という形に予算書のほうにはなっております。

○委員長（金丸幸司君） 清水正二委員。

○委員（清水正二君） その費用弁償というのは、旅費以外にはほかにないんですか。

○委員長（金丸幸司君） 広瀬係長。

○防災減災係長（広瀬 修君） 今ここにのっている1,342万については費用弁償、消防団が災害のとかのときに出る費用弁償という形になっております。

○委員長（金丸幸司君） 清水正二委員。

○委員（清水正二君） そうじゃなくて、要するにそういった出動費というか、そういうものでもって出ているから、例えばこの中に報償費であり、需用費でありというものがあるんです、そういうものの中には、そういった費用弁償という項目はないんですかと聞いている。

○委員長（金丸幸司君） 三井総務部長。

○総務部長（三井敏夫君） すいません、清水委員ご質問のとおり、科目のほうで旅費の科目で1,394万8,000円盛ってありまして、このうち消防団出動費用弁償費として1,342万円支出計上してございます。残りの旅費の分につきましては、上にあります消防団の幹部の研修旅行費、まさにこれが旅費でございまして、それが旅費の分を食っている分でございます。そのようにご理解いただければ。今係長申しましたように、旅費のうちの費用弁償で1,342万円、純然たる旅費のほうで残りの50万円、出張旅費のほうで出ておりますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

これで2款総務費、1項総務管理費のうち防災危機管理課所管事業、3款民生費、5項災害救助費及び9款消防費についての質疑を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員の入れかえを行います。

休憩 午後 1時56分

再開 午後 1時58分

○委員長（金丸幸司君） それでは、会議を再開いたします。

説明、答弁については簡潔にお願いいたします。

2款総務費のうち秘書政策課所管事業について説明を求めます。

丸山秘書政策課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） ご苦労さまです。

秘書政策課から平成31年度当初予算についてご説明申し上げます。

予算説明書は38ページから41ページでございます。

説明につきましては、お手元の平成31年度予算参考資料ナンバー1で説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、資料の1ページをお願いいたします。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、10秘書費につきましては、予算額が782万6,000円として、財源につきましては一般財源でございます。主な事業の概要につきましては、弔慰金、香典料などの交際費、そのほか出張旅費や市長会の負担金、市長車リース代等の経費を計上しております。

11市制祭事業につきましては、170万円であります。新年度は市制15周年を迎えますので、これに伴います市制祭式典経費と表彰関係の経費であります。

続きまして、広聴広報関係の予算であります。2款総務費、1項総務管理費、2目文書広報費、01一般広聴広報事業、予算額360万7,000円につきましては、主な事業といたしまして、平成30年度においてホームページの再構築に取り組み、本年4月1日から新たな情報

に加え発信を行うとともに、利用者の利便性の向上を図り、パソコン及びモバイル端末、いわゆるスマートフォンなどから双方で利用しやすいデザインとしてリニューアルをしたホームページの利用を開始いたします。この予算計上につきましては、ホームページの保守点検等の委託料などおいたしまして204万5,000円、その他広聴広報事務とおいたしまして、山梨日日新聞データベース使用料、旅費などを計上し、また決算審査特別委員会からご要望いただきました本市の魅力情報発信事業につきましては、広告掲載等情報発信料の予算として計上しております。内容につきましては、新聞紙面などメディアを利用いたしまして、新年度から毎月一度、新聞紙面において甲斐市のイベント情報など発信を行ってまいります。なお、こちらの自主事業の財源につきましては一般財源のほか自主財源の増資を図ることからもホームページのリニューアルによりバナー広告枠を増設し、バナー広告料108万円を充てております。

次に、02広報発行事業2,491万2,000円でございますが、内容につきましては、広報紙等の作成の事務経費のほか、広報紙の印刷費等として編集、印刷の経費2,227万8,000円、そのほか広報紙等を自治会に配布する経費などを計上しております。

続きまして、参考資料の2ページをお願いいたします。

予算説明書は42ページから45ページとなります。

2款総務費、1項総務管理費、5目企画費、03企画管理費2億4,130万8,000円でございますが、財源は一般財源を充ててございます。

まず、02総合計画プロジェクト事業につきましては、12月定例の補正予算とあわせ繰越明許費の議決をいただく中で、現在、第2次甲斐市総合計画及び甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定業務に着手し、新年度におきまして策定するものでございます。新年度に計上いたします予算542万5,000円につきましては、各計画の見直し及び策定に伴います総合計画審議会委員報酬と事務費などの経費と政策研究所関係の経費で構成をしております。また、政策研究所関係につきましては、アドバイザーへの講師等謝金と研究員の研修先である早稲田大学マニフェスト研究所主催の政策研修への参加経費、事務費及び旅費などであり

ます。

次に、04ふるさと応援寄附金事業とおいたしまして2億3,588万3,000円を計上しております。平成30年度は12月補正予算におきまして4億円の寄附金を見込む中で、昨年12月単月で1億7,500万円を超える寄附金により、今月の7日現在で4億1,254万7,000円の寄附がございましたので、ご報告させていただきます。これによりまして、新年度のふるさと応援寄

附金の見込みにつきましては、12月補正予算で見込みました同額の4億円を見込むものであります。そのため、主な予算計上といたしまして贈呈品、特典の経費、手数料につきましてはふるさと納税サイト3社のウェブサイト使用手数料と各種イベント参加の出店料としての経費、また、このたびの増収につながりました首都圏のほかに関西方面に向けた甲斐市の特産品などのPRの広告事業は積極的に実施してまいります。また、これまでのふるさとチョイス、ヤフー、楽天、さとふる、郵便局に昨年度新たにANAふるさと納税を加え、寄附者の選定の充実を図るため、運営会社に委託料と寄附金の管理システムの保守委託料などを計上しております。今後さらにPRに努め、自主財源の確保に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、資料の3ページをお願いいたします。

16地方創生事業4,209万円でございます。03移住定住促進事業971万9,000円につきましては、移住定住の促進を初め、本市の魅力発信事業につきましては国の施策である地方創生への取り組みを受け、甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略に続き行った移住定住の促進及び魅力情報発信拠点運營業務の事業展開を実施したところであります。主な事業といたしましては、首都圏での移住定住促進、魅力情報発信拠点運營業務やポータルサイト保守業務などの経費を計上したところであります。

次に、09緑化センター跡地活用事業であります。予算が3,237万1,000円につきましては、12月定例会の補正予算として、事業化支援アドバイザー業務につきましては事業期間を平成31年度から32年度までの2カ年の債務負担行為の議決をいただきました。2年目の事業化支援アドバイザー業務委託のほか、緑化センター内の用地測量及び地質調査業務委託、また主要事業とする緑化センター跡地活用事業を市民に広く周知を図ることを目的といたしまして、市制15周年記念を冠といたしましたルドゥーテでの作品企画展等の開催を予定しているところであります。

以上、秘書政策課の平成31年度当初予算の内容でございます。

よろしく審議のほどお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。

先に所管委員の質疑を行います。質疑ございますか。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 今の3ページのほうの一番最後なんですけれども、市制15周年ルド

ウーテ企画展業務委託とありますけれども、具体的にどこの場所で、どんな形ですという、まだそこまではいってないわけですか。

○委員長（金丸幸司君） 大木係長。

○総合政策係長（大木 康君） こちらの企画展につきましては、ことし9月に市制15周年を迎えることから、秋ごろの開催のほうを予定しております。場所につきましては、市内公共施設または民間施設を予定しております。詳細につきましては、今後、作品の所蔵者あるいは委託事業者と協議のほうを行ってまいります。

以上でございます。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に、所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 1ページの一般広聴広報事業で、ホームページ保守等委託料204万5,000円、これは去年リニューアルをしてさまざまな情報発信をしているということでやったんだけど、これ委託料が倍になっているね。それってどこがどういうふうになって委託料が倍近くなったのか。

○委員長（金丸幸司君） 中村係長。

○広聴広報係長（中村大輔君） 保守料が今回値段がかなり上がりましたけれども、データセンターのサーバーのほかにも、距離的に離れた別の拠点へバックアップサーバーというものを設置いたします。そういった設置によりまして稼働環境を大幅に見直しまして、災害等が発生したときに、どちらかのサーバーがダウンしてもすぐに復旧できるよう情報を発信し続けることが可能となっております。また日常的にも、サーバーが安全に、かつ安定的に稼働するように監視項目の取り決めを細かく設定したというところの影響で増額となっております。

以上でございます。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 先ほど情報発信として、エリアを広げるために関西のほうへもどうのこうのと説明があったんだけど、それとは直接は関係ないということですね。

○委員長（金丸幸司君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） 先ほどの関西方面はふるさと納税のPRということで関西方面に広告事業を行ったという内容です。今回の、今係長からも説明がありましたとおり、災害でデータセンターのやりとりを行えるようという、新たに災害に向けたメニューを加えていることで保守業務が前年度よりも増額した理由となります。よろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

横山委員。

○委員（横山洋介君） さっきの3ページの緑化センターの最後の15周年記念の式典ですけれども、これ単品でどのぐらいの予算を考えていますか。

○委員長（金丸幸司君） 大木係長。

○総合政策係長（大木 康君） こちらのルドゥーテの企画展の委託料につきましては、約550万円の予算のほうを計上を予定しております。

作品の点数につきましては、先ほどお答えしましたとおり、まだ詳細については決まっておきませんので、今後、作品の所蔵者、それと委託事業者等と協議をしまいいりまして、ご報告のほうをさせていただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） ルドゥーテ企画展業務委託ということなんですけれども、9月からということなんですけれども、期間はどれぐらいを予定されているんですか。

○委員長（金丸幸司君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） 今予算の段階で、はっきりした点数とかの協議は今後していくわけですが、一応、おおむね10日間ぐらいの期間でできれば、市民の方が見られるような企画展を予算としては検討しているところです。いずれ日程、日時、また作品の内容については今後契約によって確定していきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

これで2款総務費のうち秘書政策課所管事業についての質疑を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午後 2時12分

再開 午後 2時14分

○委員長（金丸幸司君） それでは、会議を再開いたします。

次に、2款総務費のうち企画財政課所管事業及び12款公債費及び13款諸支出金のうち企画財政課所管事業並びに14款予備費について説明を求めます。

山田企画財政課長。

○企画財政課長（山田 洋君） お疲れさまです。

それでは、企画財政課が所管いたします平成31年度当初予算についてご説明いたします。

予算説明書は42、43ページ、予算参考資料につきましては同じくナンバー1の企画政策部の4ページをお願いいたします。

説明につきましては、予算参考資料に基づきまして説明させていただきます。

まず、2款総務費、1項総務管理費、3目財務管理費、01財務管理費（財政係）につきましては、予算額1,059万4,000円でございます。財源は全て一般財源となります。事業の概要でございますが、財政係に係る追録代及び郵便料と平成30年度決算に係る統一的基準による財務書類等を作成するための作成支援委託料及びシステム保守委託料、また共同財務会計システムの負担金でございます。

次に、5目企画費、01行政改革推進事業につきましては、予算額41万7,000円で、財源は全て一般財源となります。事業の概要でございますが、行政改革推進委員会委員及び指定管理者選定評価委員の報酬、各委員会の事務消耗品、郵便料などがございます。なお、指定管理者制度導入施設は、平成30年4月1日現在で14施設となっております。

02非核平和推進事業につきましては、予算額8万6,000円で、核廃絶の推進、平和のとうとさを啓発するための朗読会、写真展示会等を開催する経費でございます。

03企画管理費につきましては、企画財政課の予算分2,618万4,000円でございます。財源内訳の国・県支出金30万円につきましては、県からの委託金で、土地利用規制等対策費交付金でございます。事業の主な概要でございますが、リニア中央新幹線建設促進、山梨県期成同盟会及び中央東線高速化促進広域期成同盟会に対する法令外負担金と甲府地区広域行政事務組合及び峡北広域行政事務組合の一般会計に対する負担金などがございます。

予算審議資料の21ページから25ページには広域事務組合負担金一覧表を掲載しております。

すので、参考としていただきたいと思います。

予算説明書の44、45ページになりますが、04行政資料集発行事業、予算額15万2,000円でございますが、行政資料集発行に伴う印刷代で、200冊の発行を予定しております。

05バス路線維持対策事業、予算額1,015万4,000円につきましては、生活バス路線として甲斐市内を運行している民間バス事業者の赤字バス路線26路線への補助金でございます。

次に、予算参考資料の5ページをお願いします。

07地域公共交通活性化再生総合事業につきましては、予算額2,592万5,000円でございます。市民バス関係消耗品等につきましては、時刻表の印刷や路線マップの印刷、バス停に係る消耗品などでございます。そのほか甲斐市民バス運行委託料を計上しているところでございますが、甲斐市民バスにつきましては平成25年度から本格運行を行い、5路線を運行しているところであります。より多くの方にご利用していただけるよう、今後も積極的な周知等に努めてまいりたいと考えております。

08遠距離通学定期券購入費補助事業につきましては、予算額499万8,000円でございます。財源内訳の国・県支出金249万9,000円につきましては、県からの鉄道通学支援による人口転出抑制実証事業費補助金でございます。事業の概要でございますが、県外の大学等に自宅から通学する学生を対象とした通学定期券の購入費に対する補助を行うものでございます。

次に、予算説明書の54ページから57ページになりますが、5項統計調査費、1目委託統計調査費でございます。平成31年度に予算計上いたします調査費は、01国勢調査事業から13全国消費実態調査事業までの8つの事業でございます。そのうち01国勢調査事業につきましては、平成32年度に本格調査を予定しておりますので調査区設定などの準備経費を計上しております。そのほかの調査につきましては、調査等に要する経費を計上したところでございます。なお、これらの統計調査費につきましては法定受託事務であり、財源として委託調査費の委託金が全額交付されることとなっております。

次に、予算説明書は126、127ページになります。予算参考資料は6ページになります。

12款公債費、1項公債費、1目元金、01元金につきましては、予算額31億6,788万1,000円でございます。財源内訳の市債3億7,340万円につきましては、合併特例債、借換債で、その他の3,180万4,000円につきましては住宅使用料でございます。

次に、2目利子、01利子につきましては、予算額1億7,259万1,000円でございます。財源内訳のその他321万円につきましては住宅使用料でございます。内訳といたしましては、市債利子と一時借入金利子でございます。新規発行債の利子は民間資金0.3%、財政融資

0.1%で積算いたしました。一時借入金の利子につきましては、予算の内容に定めました借り入れ最高金額の40億円を基礎といたしまして0.2%の利率で、おおむね40日の借入期間で積算してございます。

次に、13款諸支出金でございます。予算説明書は126から129ページ、予算参考資料は6ページから8ページとなります。

企画財政課が所管いたします基金費につきましては、1目財政調整基金費、2目減災基金費、8目公共施設等整備基金費、9目土地開発基金費、13目まちづくり振興基金費の5つの基金でございます。各基金への積み立てにつきましては、歳入の17款財産収入で生じた基金利子等を財源として積み立てるものでございます。なお、基金の積み立て状況や平成31年度の現在高見込みの調書につきましては、予算審議資料の7ページに記載してございますので、あわせてご参照いただきたいと思います。

最後に、14款予備費でございます。予算説明書は130、131ページ、予算参考資料は8ページをお願いします。

予備費につきましては、前年度と同額となる2,000万円を計上いたしております。

以上、企画財政課に係る予算についてご説明いたしました。よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。質疑ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 4ページの行政資料集ですが、200冊ということですが、ちょっと資料欲しいなんていう話もあったりして、予備がないということも前に言われたんですが、この数だと自治会にも行っていませんよね。そんなに限定されたものなのか、もう少しつくってもいいような気がします。どうでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 田中係長。

○企画係長（田中貴則君） 200部印刷させていただいております。その中で議会事務局ですとか、監査事務局のほうにも配布させていただいているんですけども、予備も若干持っております。また、ホームページとかに掲載をいたしまして、必要があるときには印刷できるようにもなっておりますので、当面この200部で対応していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

小浦委員。

○委員（小浦宗光君） 5ページの遠距離通学定期券の関係ですけれども、これは県の補助金がついている事業ですけれども、遠距離の対象者は30年度はどれくらいあったんですか。

○委員長（金丸幸司君） 田中係長。

○企画係長（田中貴則君） ことしの3月5日現在になるんですけれども、25名の方が利用しております。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 小浦委員。

○委員（小浦宗光君） 前にも聞いたかもしれませんが、学生と何か約束をして、例えば卒業してから県内に帰ってきたら補助金を返さなくていいとか、そんなふうな約束があるわけですか。どんなふうな約束がありますか。

○委員長（金丸幸司君） 山田課長。

○企画財政課長（山田 洋君） この制度でありますけれども、市内に居住している方が県外の大学に通学している場合において月額1万円を限度に補助しているというものでありますので、その後の動向ということのお話かと思えますけれども、それについては今後、卒業した者についてアンケート調査等で確認をとっていきたいと考えておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 小浦委員。

○委員（小浦宗光君） 特に補助金出しているけれども、それを返すとか、返さないとか、そういうことは一切ないということですか。

○委員長（金丸幸司君） 山田課長。

○企画財政課長（山田 洋君） はい、おっしゃるとおりであります。あくまで補助金でありますので、返金ということは生じないかと考えております。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 統計のところなんですけれども、13番の全国消費実態調査事業というのが、去年はなかったですけれどもことしありますけれども、この目的と対象を教えてください。

ださい。

○委員長（金丸幸司君） 田中係長。

○企画係長（田中貴則君） 全国消費実態調査事業につきましては5年に1回の調査になりますので、前回は平成26年度という形になろうかと思えます。

また、調査といたしましては、選定された世帯の消費、所得の状況、資産の状況ですとか、その世帯の状況などを調査させていただくような形となっておりますので、よろしくお願いたします。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 選定されたというのは、どういうふうにも抽出するんですか。

○委員長（金丸幸司君） 田中係長。

○企画係長（田中貴則君） 抽出される世帯が対象になってくるんですけども、今後、県の説明会等を通じて詳細が決定してくると思えますので、その辺は今後になろうかと思えます。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） もう一つ、目的は、何のためにやるかというのは。

○委員長（金丸幸司君） 山田課長。

○企画財政課長（山田 洋君） 調査内容につきましては、先ほど係長が答えたとおりであります。世帯の収入、支出、貯蓄等の状況を調べるということで、目的というか、事業の概要のところちょっと触れさせてもらっていますけれども、消費構造や所得水準に関する基礎資料を得るための調査ということになるかと思えますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

これで2款総務費のうち企画財政課所管の事業及び12款公債費及び13款諸支出金のうち企画財政課所管事業並びに14款予備費についての質疑を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。2時45分に再開いたします。

休憩 午後 2時30分

再開 午後 2時47分

○委員長（金丸幸司君） それでは、会議を再開いたします。

説明、答弁については簡潔にお願いいたします。

次に、2款総務費、3款民生費及び4款衛生費のうち市民活動支援課所管事業について説明を求めます。

白神市民活動支援課長。

○市民活動支援課長（白神忠広君） お疲れさまでございます。市民活動支援課の平成31年度の当初予算についてご説明させていただきます。

予算説明書は40、41ページになります。なお、説明は予算参考資料の4番で説明をさせていただきますと思いますので、よろしくをお願いいたします。

予算参考資料の1ページをお願いします。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費ということで、まず21の生活環境部公用車管理事業につきましましては、予算額930万4,000円をお願いするものであります。こちらにつきましましては生活環境部の公用車4台の燃料費、修繕費等を含めた維持管理経費と、公用バスが2台ございますが、その運行管理委託経費でございます。平成28年12月議会でご質問がありましたバスの名称、利用対象等におきまして検討を行い、平成30年4月1日から甲斐市公用バス使用規定と改め運用を行っております。これに伴いまして経費の精査を実施しまして、実情に応じた委託料として計上したものでございます。

次に、22生活環境部管理事業につきましましては、予算額5万4,000円をお願いするものであります。こちらにつきましましては生活環境部の事務消耗品であります。

次に、予算説明書は44、45ページになります。同じく1項総務管理費、5目企画費でございます。09の男女共同参画推進事業につきましましては、予算額193万円をお願いするものでございます。こちらにつきましましては男女共同参画推進員の報酬と学習会、研修会の講師謝礼、活動に係る消耗品、情報誌の印刷経費、ドメスティックバイオレンス、いわゆるDVの相談業務委託料、これにつきましましては平成27年度から予算計上をさせていただいているもので、市内の女性を対象としたDVに関する相談業務を、現在、民間団体の女性の人権サポートクローバーというところと契約を締結しているものであります。それから、2年の任期中に一度実施しております県外研修費としまして17万9,000円を計上させていただきました。

次に、予算説明書は46、47ページになります。予算参考資料は2ページをお願いします。

1項総務管理費、9目交通安全、防犯対策費でございます。13チャイルドシート貸出、交通災害共済事業につきましましては449万1,000円をお願いするものであります。なお、財源

内訳のその他の13万3,000円がございますけれども、こちらは交通災害共済の事務手数料で  
ございます。1件当たり16円ということで算定をしております。内容でございますが、  
ベビーシート、チャイルドシートの貸与については1歳6カ月までの乳幼児ということで対  
応をしており、専門業者に委託をして事業を実施しておりますが、チャイルドシートを4年  
間で200台更新する必要がありますので、その経費として年額158万円ほどが昨年に比べて  
増額となっております。そのほか、通知に要する郵便料等でございます。

次に、予算説明書は48、49ページになります。予算参考資料は同じく2ページをお願い  
します。

1項総務管理費、12目市民活動費でございます。01の市民相談費につきましては、予算  
額413万6,000円をお願いするものであります。財源内訳の国・県支出金の157万6,000円  
でございますけれども、こちらの内訳は、消費者行政推進交付金市町事業費補助金として132  
万9,000円、地域自殺対策強化事業費補助金24万7,000円となっており、全て県からの補助  
金でございます。市民相談費、法律相談委託料、人権啓発物品等におきましては、年間を通  
した市民相談、無料法律相談等を開催しております、それらに係る経費が107万3,000円  
でございます。

次に、社会を明るくする運動の啓発物品購入費でございますが、メモ帳等の啓発物品の購  
入経費となっております。平成29年10月に設置をいたしました甲斐市消費生活センターの  
相談員1名の人件費としまして248万6,000円をお願いするものでございます。そのほか、  
消費生活センターの運営経費、消費者対策啓発物品等として啓発用品や講座の開催経費を計  
上させていただきました。

予算参考資料は同じく2ページになりますが、02の市民温泉等維持管理事業につしまし  
ては、予算額8,566万4,000円をお願いするものであります。まず、温泉施設の修繕料でご  
ざいますけれども、こちらは年間の修繕費用ということで282万円を計上させていただきました。  
次に、指定管理委託料でございますが、平成31年度から33年度までの3年間で第4  
期の指定管理期間としまして、引き続き山梨交通株式会社様へ委託するもので、3施設を合  
計しました年間の委託料が7,246万4,000円でございます。昨年度の故障により源泉ポンプ  
の保守点検の委託料を新たに計上させていただきました。また、下水道の布設に伴います敷  
地内配管工事費とその受益者負担金を計上しております。それから、温泉施設設備改修工事  
につきましては、百楽泉多目的ホールのエアコン更新工事の費用を計上させていただいてお  
ります。各施設とも老朽化が進み、設備の更新が必要となっております。そのほか施設用の

備品費でございます。

次に、予算参考資料の3ページをお願いいたします。予算書は同じく48、49ページです。

1項総務管理費、14目諸費でございます。01の自治振興事業につきましては、予算額5,906万5,000円をお願いするものであります。財源内訳のその他113万4,000円は県からの県政だより配布交付金であります。内容につきましては、行政連絡調整委員であります自治会長さんの報酬、2年に一回実施しております県外研修費、事務消耗品、郵便料ほかということをお願いをする行政連絡調整委員関係経費、その次の自治会連合会への補助金は75万円であります。自治会放送施設整備費補助金につきましては、補助率は3分の1となっておりまして、本年度3地区が実施予定でございます。その下の地域集会施設整備費補助金につきましても補助率は3分の1となっておりまして、今年度9地区が実施予定でございます。それから行政連絡調整費交付金につきましては、1世帯当たり900円の計算により交付をしております。県政だより配布交付金につきましては、財源内訳で説明をいたしました県政だより配布交付金として受けた同額をそのまま自治会に交付をしております。

次に、予算説明書は64、65ページになります。予算参考資料は4ページをお願いいたします。

3款民生費、1項社会福祉費、4目地域改善対策費になります。02の住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金につきましては、存置ということで1,000円を予算計上させていただいております。こちらにつきましては、全て住宅新築資金等貸付事業特別会計の不足額の補てんでございますが、特別会計の審査の際にご説明をさせていただきたいと思っております。

次に、予算説明書は80、81ページになります。予算参考資料は4ページをお願いいたします。

4款衛生費、2項環境衛生費、3目やすらぎ聖苑管理費、01の一般管理費につきましては4,603万1,000円をお願いするものであります。財源内訳につきましては、行政財産使用料、火葬場使用料、その他使用料で1,239万4,000円を計上してございます。燃料費、光熱水費などの経費としまして767万5,000円、施設運営管理業務としまして火葬業務と受付窓口業務を一括で委託する体制となっておりまして、その経費としまして1,798万5,000円を計上させていただいております。これによりまして火葬業務の予定が入っていない日等の待機人員を削減し、経費の縮小を図ってまいります。施設の清掃維持管理、電気設備、火葬炉等の保守経費といたしまして535万2,000円をお願いするものでございます。また、施設修繕としまして、台車ブロック3台分、排気ファンインペラ2カ所、火葬炉点火トランス3基、無停電電源装置1台の修理を予定しております。そのほか、突発的な故障等に対処するため

の工事費として100万円、施設監視システムカメラの更新費用といたしましては402万2,000円を計上させていただきました。

説明は以上でございます。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。

先に所管委員の質疑を行います。質疑ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 2ページの真ん中の市民相談ですが、この市民相談の法律相談、件数どのくらいあるんですか。

○委員長（金丸幸司君） 窪田係長。

○市民生活係長（窪田美世君） お答えします。

市民相談は、今年度35回開催しまして、少ないですが8件の相談がありました。無料法律相談は5回開催しまして50件の相談がありました。

○委員長（金丸幸司君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） すいません、下のほうの消費関係の相談件数。

○委員長（金丸幸司君） 窪田係長。

○市民生活係長（窪田美世君） 今年度2月末までで電話による相談が145件、来庁が44件で計189件の相談をいただきました。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 1ページの男女共同参画推進事業の中のDVの相談業務委託をしていらっしゃると思うんですけれども、ちょっと話し合いをした期間があったんですけれども、やはりもう少し市民の方に、市のほうでこういう相談の窓口がしっかりあるということを情報発信をしたらどうかと思うんですね。例えば広報紙にクローバーさんたちの活動などをしっかりと市民の誰もがわかるような形で連載的に、小さな場所でもいいですけど入れていただければいいな、今年度ぜひそういうことに取り組んでいただきたい。

なぜかといいますと、この一般質問でも非常に子供の虐待に対する問題を取り上げた議員さんが大勢いましたけれども、その背景にあるものに非常にDVがあるということは、これはもう報道などでも、皆さんもご承知だと思うんですけれども、そこからしっかりと解決し

てあげなければいけないということで、一人で苦しんでいる女性たちも市内にはもっと大勢いるということを伺っていますので、ぜひ市のほうでも情報発信をしてあげていただきたいなと思います。これは広報に載せる分には予算がなくても大丈夫ですので、ぜひそちらのほうのご尽力いただきたいなと思います。要望ですので、よろしくお願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 4ページのやすらぎ聖苑に関してちょっとお聞きしたいんですが、これ委託料が1,800万ぐらいですかね、ほかに修繕料とかいろいろな経費がここに上がっていますけれども、この金額というのは、その他の財源はこれたしか使用代ですよ、1,200万はね。それ以外に結局、一般財源として3,000万ちょっとぐらいかかっていますけれども、これ今後の見通しとしてはどうですか、補修とか、委託料はそんなに変わらないと思うんですけども、1,800万ぐらいね。そのほかのものに関してはどうですかね、今後の話として。

○委員長（金丸幸司君） 白神課長。

○市民活動支援課長（白神忠広君） 長期10年計画の中で機器の寿命に応じた計画をつくりまして、それに応じて毎年予算化をして進めています。内容としましては火葬炉、一番大きいものを既に15年経過したところで3基ともかえておりますので、今後は余り大きなものはなく、ほぼこの金額で10年程度はいけるんじゃないかというふうに考えております。

○委員長（金丸幸司君） そのほか質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 1ページの公用バスの運行管理費2台、これは前年度よりかはもう大分予算がふえているんですけども、この背景を聞かせてください。

○委員長（金丸幸司君） 小宮山係長。

○市民活動支援係長（小宮山佳浩君） 公用車管理事業が平成30年度より約330万円増額させていただいております。

まず、生活環境部で使用している公用車におきましては、4台のうち3台が車検の年となります。その予算で約22万円の増額となっています。その次に、公用バスへ来年度はやはりたいぬくんのラッピング、やはりたいぬくんのシールですね、公用バスに表示をしたいと考え

ておりますので、その予算として約14万円を新規にお願いしている状況です。

そして、公用バスの運行管理委託料ですけれども、平成30年度予算の540万円に対しまして、平成31年度は833万8,000円をお願いしているところでありまして、293万8,000円の増額となっています。

平成30年度の公用バスの運行管理につきましては、見積もり合わせによりまして業者を決定して委託契約を締結いたしました。その平成29年度までは運行管理ができるのが1社のみであったという状況でありましたが、30年度の運行あるいは31年度、今後の運行に当たって運行除外日というものが1年間の4分の1になってしまうというふうに聞いていることや、今まで運行管理ができないよ、対応ができないよと言っていた市内の業者が、こちらと話をさせていただいたら対応可能となりますよという話をさせていただきましたので、それも含めて公平性あるいは公正性を確保するために、見積もり合わせを実施いたしました。いずれの業者も見積もりを出していただきましたら予定価格を上回るものでありました。そのため、最低価格の業者と協議を行った上で契約を取り交わして現在運行している状況です。この状態がずっと続きますと、委託業者の負担も大きいということもありまして、その結果、公用バスの運行管理委託を受けるところがなくなってしまうということが危惧されたため、各業者のその見積書等を参考にしまして、平成30年度、今年度、運行管理に係る経費を業者と打ち合わせをしながら詳細に精査を行った上で、今回予算計上をさせていただきました。

項目別に言いますと、人件費は約190万円増額、それから重量税などの車検費用等の車両管理費は約70万円増額、それから燃料費については価格の高騰が今年度はありました。それから燃費も多少悪くなっていることから、その分を増額したのと、あと8%から10%消費税が上がります。そのことも踏まえて約293万8,000円の増額とさせていただきました。それを全部合わせて330万円の増額となっておりますので、よろしく申し上げます。

○委員長（金丸幸司君） 当局側に申し上げます。説明は簡潔によろしくお願いいたします。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 丁寧な説明ありがとうございました。

今の話だと、増額の理由というのは今まで山交に委託をしていたんだよね、初めて2社にやってみ積もりということで、今、市内の業者もこの運行業務の中に入っているということ。

○委員長（金丸幸司君） 白神課長。

○市民活動支援課長（白神忠広君） 29年度までは山交様の随契でした。昨年度から山交さんと玉観光さん、竜王交通さん、敷島観光さんと4社で見積もりを行っているところです。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） だから、見積もりを行って、結果が結局、前年度よりは山交のときはふえたわけだよね、540万から300万ぐらい。その理由というのは、見積もり合わせをするということは当然、上がるものの背景があるから、そのところが何で上がったのかというところを聞きたいということ。

○委員長（金丸幸司君） 白神課長。

○市民活動支援課長（白神忠広君） まずは、山交さんがやっていたときにはリッター3.5キロ走るという想定で行って行っていました。実際ことしやってみたら、とてもリッター3.5は走らないということがございましたり、あとは、山交さん自体は路線バスであったり、観光バスの運転手さんで、ぴったりの人数で運行管理をしていくわけにはいかないということで、余っている方が甲斐市のバスを使っただけ、余剰人員で対応するよということでの最初スタートしたというところがございます。新潟のバス旅行等の事故があっただんだん厳しくなった中で、9月、10月につきましてはもう運行除外日ということでほとんど使えないというようなことが進んできたものですから、昨年度、市内のバス会社さん等をお願いして除外日をなくした中で再度見積もりをとったということで、ある程度自由度が増した分、金額は伸びてしまったというようなことです。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） わかりました。

それで、今まで福祉バスという名目でいろいろ運用上のふぐあいがあっただけ、結構市民からの苦情的なものもあっただけけれども、今はそういう柔軟性が保たれている状況があるので、そういう運用上の問題というものは今発生はしていないの。大丈夫。

○委員長（金丸幸司君） 白神課長。

○市民活動支援課長（白神忠広君） 利用する団体等に年間の上限回数とか当然ございます。

あとは県外も基本的にはだめだよということはあるかもしれませんが、ある程度その辺は浸透しているものと考えておりますので、余りそれについては、申し込んだ日がとれないというようなことはございますけれども、今のところ余り大きな苦情等はいただいているというふうには考えております。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

保坂委員。

- 委員（保坂芳子君） 1ページの、先ほど出ましたDVのことなんですけれども、保護された件数というのはあったんでしょうかね。保護を受けられた件数というのは。
- 委員長（金丸幸司君） 小宮山係長。
- 市民活動支援係長（小宮山佳浩君） 平成30年度につきましては一時保護の件数は今のところありません。
- 委員長（金丸幸司君） 保坂委員。
- 委員（保坂芳子君） 2ページの、先ほどから出ています市民相談の件なんですけれども、消費生活相談の内容なんですけれども、詐欺被害とか、内容はいろいろあると思うんですけども、詐欺被害をなくすということが一番あれかななんて思うんですが、どんなものが一番多いですか。
- 委員長（金丸幸司君） 窪田係長。
- 市民生活係長（窪田美世君） 相談の主な内容ですが、はがきやメール等による架空請求の関係の相談が今年度58件、通信販売関係の相談が34件と多く来ております。
- 委員長（金丸幸司君） 保坂委員。
- 委員（保坂芳子君） この相談員さんがいて、電話にしろ、内容にしろ未然に防げたというケースが多いということで成果が上がっているということですよ。
- 委員長（金丸幸司君） 窪田係長。
- 市民生活係長（窪田美世君） そうですね、相談にお越しになりました防げたケースはたくさんあると思います。身近なところでできて、本当に相談される方はよかったと私は思っております。
- 委員長（金丸幸司君） 保坂委員。
- 委員（保坂芳子君） 相談員さんがいてくれて、やっぱりよかったなということですので、ますます頑張ってくださいと思います。
- それから、先ほど法律相談で5回開催して50件と言いましたけれども、1回で10人も当たるといような、平均するとなっちゃうんですけども、そういうことなんですかね。ふやさなくて大丈夫ですかね。反対に、市民相談のほうが何か随分少ないし、その辺のところはどうなんですかね。
- 委員長（金丸幸司君） 白神課長。
- 市民活動支援課長（白神忠広君） 法律相談につきましては、弁護士さんのところと司法書士さん交互に行っております。やはり市民の方から弁護士の相談のところについては非常に

希望が多くて、ただ、費用の関係や、あるいは時間等の関係から、1回当たり10こまという相談も制限をさせていただく中で、毎回抽せんとなっているようなのが実情です。

以上です。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 無料法律相談、本当に市民の方はありがたいと思うんですね。できたらもうちょっとふやすとか、何か考えていただければ大変ありがたいかなと思いますので、検討していただければと思います。

4ページのやすらぎ聖苑のことで、私が最近ちょっと体験したこととか、ちょっとお聞きしたいことなんですけれども、今いろんな火葬場の建物の中の、例えば暖房とか、ああいったことというのはどこのあれなんですかね、市なんですかね、それとも委託業者がやっているんですかね。

○委員長（金丸幸司君） 白神課長。

○市民活動支援課長（白神忠広君） 点検を市のほうで発注をして、年間で保守点検等を行っております。今回は保守点検を、修理も行ったんですけれども、修理をして2日後に違う系統が壊れたということで、急遽、今ストーブを置く中での対応をとっているところであります。

○委員長（金丸幸司君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。行ったら、選挙管理委員会で使っているストーブが置いてあったので、何だろうな、これはと。故障したということなんですね。それにしても、やはりちょっとあそこのところ、選挙管理委員会のというのはわかるんですけども、何かちょっと工夫してあそこは隠すとかしたほうがいいと思うんですね。しようがないと言えばしようがないんですが、応急的にはやったんでしょうけれども、ああいうところもちょっと思いました。どうでしょうか。

○委員長（金丸幸司君） 白神課長。

○市民活動支援課長（白神忠広君） そうですね、やはり以後気をつけていきたいと思います。

○委員長（金丸幸司君） ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

これで2款総務費、3款民生費及び4款衛生費のうち市民活動支援課所管事業についての質疑を終了いたします。

次に、2款総務費のうち各支所所管の事業について説明を求めます。

剣持敷島支所長。

○敷島支所長兼市民地域課長（剣持豊彦君） お疲れさまでございます。敷島所が所管いたします平成31年度当初予算の内容につきまして説明させていただきます。

予算説明書につきましては44、45ページになります。予算参考資料はナンバー4の10ページでございます。

なお、説明につきましては予算参考資料でご説明いたします。

2款総務費、1項総務管理費、7目支所及び出張所費です。初めに03敷島支所関係職員費です。予算額は1億1,734万2,000円です。財源内訳としまして国・県支出金229万1,000円は国からの委託金で、国民年金市町村事務費交付金でございます。事業の概要につきましては、正職員16人分の人件費であります。

次に、04敷島支所の関係嘱託非常勤職員等費です。予算額は1,728万1,000円です。事業の概要につきましては一般非常勤職員7人分の人件費でございます。

次に、ナンバー10敷島庁舎維持管理費です。予算額は593万6,000円です。財源内訳としまして、その他財源3万1,000円は敷島庁舎内に設置されている自動販売機2台の使用料と敷島庁舎内の公衆電話使用料でございます。事業概要の維持管理費は、主に光熱水費、施設警備維持管理委託料等でございます。一般管理費は事務用消耗品、通信運搬費、ファクス、印刷機のリース料等であります。

次に、11敷島支所公用車管理事業です。予算額は101万8,000円です。事業の概要につきましては敷島支所で使用します公用車7台、バイク1台にかかわる修繕費、燃料費及び車検の諸費用等でございます。支所及び出張旅費の予算総額は1億4,157万7,000円です。

以上が平成31年度の敷島支所市民地域課が所管いたします総務費の当初予算の内容でございます。

ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 保坂双葉支所長。

○双葉支所長兼市民地域課長（保坂江里君） お疲れさまでございます。

引き続き双葉支所市民地域課の平成31年度当初予算について説明させていただきます。

説明は予算参考資料でさせていただきます。

11ページをお願いいたします。

2款総務費、1項総務管理費、7目支所及び出張所費、ナンバー05、事業名、双葉支所

関係職員費、予算額9,696万3,000円、事業の概要は、双葉支所市民地域課職員17人のうち一般職非常勤職員4人を除く13人分の人件費です。財源内訳の国県支出金229万1,000円は、国民年金市町村事務費交付金です。

ナンバー20、事業名、双葉庁舎維持管理費、予算額882万8,000円、事業の概要は、庁舎維持管理費として光熱水費、電話料ほか庁舎清掃及び各種保守点検委託料になります。

財源内訳のその他26万4,000円は、庁舎ロビーに設置してあります自動販売機使用料と庁舎2階の2部屋を峡中保護司会と甲斐市職員組合へそれぞれ貸し出しをしている事務室使用料になります。

ナンバー21、事業名、双葉支所公用車管理事業、予算額88万1,000円、事業の概要は、双葉支所が所管する公用車6台に係る経費で、燃料費、修繕料のほか車検及び法定点検に係る経費になります。

以上、双葉支所市民地域課に係る当初予算概要であります。

よろしく願いいたします。

○委員長（金丸幸司君） 説明が終わりました。

これより説明に対し質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。質疑ございますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 今、敷島支所も双葉支所もそうなんですけれども、ここに事業の概要が両方とも出ていますよね、職員の人数も書いてありますけれども、支所長から見て、この人数で支所の活動というか、運営は十分できているとお思いでしょうか。支所長のご意見を伺いたいと思います。

○委員長（金丸幸司君） 剣持支所長。

○敷島支所長兼市民地域課長（剣持豊彦君） 人数は、私も去年の4月からということで拝任しましたけれども、その前には若干多かったということもお聞きしております。従来、各係で対応している窓口につきましては、私も見ておりますけれども、対応は十分しておりますので大丈夫と考えています。

○委員長（金丸幸司君） 保坂双葉支所長。

○双葉支所長兼市民地域課長（保坂江里君） 私も双葉支所を2年経験させていただきましたが、人員のほうは十分足りていると思います。

○委員長（金丸幸司君） ほかに質疑ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（金丸幸司君） なければ、次に、所管以外の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（金丸幸司君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

これで2款総務費のうち各支所所管の事業についての質疑を終了いたします。

以上で本日の審査を終了し、散会といたします。

あすは中学校卒業式で休会となります。

なお、明後日13日も午前9時30分より再開いたしますので、よろしくお願いいたします。

ご苦労さまでした。

散会 午後 3時23分